

令和2年度 南区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	2年度		元年度		増△減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区役所運営事業	4,906	4,906	5,267	5,267	△ 361	△ 361
2	広報広聴事	1,624	1,519	1,624	1,519	0	0
3	魅力発信・賑わいづくり事業	2,800	2,800	2,800	2,800	0	0
4	みなみ商店街等活性化事業	2,700	2,700	2,700	2,700	0	0
5	南区あったかいふるさとまつり事業	11,700	11,700	10,710	10,710	990	990
6	みなみチャレンジごみ減量事業	4,961	4,961	4,643	4,643	318	318
7	地域住民組織との連絡調整事業	3,480	3,480	3,445	3,445	35	35
8	みなみ多文化共生推進事業	9,313	9,313	8,535	8,535	778	778
9	みなみ減災推進事業	14,867	14,867	16,928	16,928	△ 2,061	△ 2,061
10	地域で守ろう私の安全安心事業	8,193	8,193	7,980	7,980	213	213
11	区民スポーツ支援事業	4,720	4,720	4,578	4,578	142	142
12	区民文化活動支援事	1,683	1,683	1,683	1,683	0	0
13	青少年育成事業	1,311	1,311	1,210	1,210	101	101
14	すこやか子育て支援事業	4,976	4,976	6,481	6,481	△ 1,505	△ 1,505
15	健やか元気応援事業	5,535	5,535	4,966	4,966	569	569
16	地域福祉保健計画等推進事業	6,530	6,530	4,890	4,890	1,640	1,640
17	いきいきシニア健康応援事業	3,220	3,220	3,320	3,320	△ 100	△ 100
18	認知症早期対応・見守り支援事業	1,286	1,286	1,566	1,566	△ 280	△ 280
19	認知症早期対応・見守り支援事業	1,089	1,089	1,020	1,020	69	69
20	地域の力応援事業	3,740	3,740	4,665	4,665	△ 925	△ 925
21	クリーン・グリーンロードみなみ	500	500	0	0	500	500

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 <sup>総務
税務</sup> 課]
区政推進課

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費 区役所総務費 広聴広報相談費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	窓口サービス向上 区庁舎・区民利用施設環境改善 その他 広報・広聴 水・緑環境保全	事業開始年度	平成16年度
------	--	-------------	---	--------	--------

事業名
区役所運営事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
10	3

事業評価 書番号	1
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,906					4,906
前年度	5,267					5,267
増△減	△ 361	0	0	0	0	△ 361

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算	事業費	11,788	5,613	5,592
	メリット+一般財源	11,788	5,613	5,592
決算	事業費	12,203	6,483	8,711
	メリット+一般財源	12,203	6,483	8,711

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	5,056	5,056
	一般財源	5,056	5,056

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> 区民に快適な区役所づくりを推進するため、区役所業務の改善や職員の資質向上を図る研修等の実施や円滑な業務運営のため各課と情報共有を行います。 来庁者にやさしく利便性のある庁舎環境を整備します。 申告時期に身近に相談ができる機会を設け、納税者の利便性向上を図ります。 南区運営方針を策定し、広く区民に周知します。また、南区区内で行われる諸事業に関し、進行管理や関連部署との連絡調整を行います。 南区統計概要を発行し、区政情報を提供します。 子どもたちが環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、具体的で効果を実感しやすい環境行動を支援します。 過年度に創出した身近な緑の維持・管理に取り組みます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市人権施策基本方針に基づいて、人権研修職員啓発・人権啓発講演会を実施する必要があります。 高齢者をはじめ区民の皆様が利用しやすい庁舎内とするため、サイン等追加やレイアウト変更する必要があります。 南区は高齢化率が高く、日本語を十分に理解できない外国人も多数居住することから、税制度への理解を得ながら円滑な納税行為につなげるため、身近に申告相談、提出の機会を設けることが望まれています。 業務の課題や地域の課題・ニーズ等を踏まえ、各年度における組織の基本目標及び目標達成に向けた施策や組織運営の方向性を明確にし、それを組織内で共有しながら、組織一丸となって目標の実現に取り組む必要があります。 統計概要を区民の誰もが見やすくわかりやすいレイアウトやデザインにする必要があります。 地球温暖化対策を進めるためには、特に若い世代が地球にやさしいライフスタイルを積極的に取り入れていく必要があります。そのため、子どもたちから環境問題に興味を持つ機会を提供するとともに、具体的な実践行動を紹介する必要があります。 南区は人口密度が高いため、区民1人あたり公園面積市内最下位と、緑に親しむ環境が比較的少なくなっています。そのため、過年度に温暖化対策の一環として創出した、身近な緑の維持・保全を行う必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会		
-------------	------------	----------	---------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針「着実に取り組む事業・業務」
-------------	---------------------------

3 根拠法令・要綱等	地方自治法、横浜市職員人権啓発研修推進要綱、地方税法・所得税法 横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜みどりアップ計画、地方自治法、統計法
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
人権啓発講演会参加者数	287	346	497	175	100	300	300
区役所環境改善実績	庁内サイン改修、レイアウト変更、トイレ室内臭気対策	庁内サイン改修、レイアウト変更、トイレ室内臭気対策	庁内サイン改修、レイアウト変更、トイレ室内臭気対策	来庁者・職員の意見をもとに、必要度・緊急度に応じて改善	来庁者・職員の意見をもとに、必要度・緊急度に応じて改善	来庁者・職員の意見をもとに、必要度・緊急度に応じて改善	来庁者・職員の意見をもとに、必要度・緊急度に応じて改善
医療費控除確定申告受付及び相談件数	1,289	1,138	1,987	1,359	1,093	1,400	1,400
市申告書受付件数	13,874	13,453	13,213	12,820	11,726	13,000	13,000
統計概要発行数(部)	800	800	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
小学校出前講座(温暖化対策普及啓発)		1校・270人	1校・120人	—	1校・80人	2校・180人	2校・180人
緑のカーテン栽培物品提供(人)	80 (—)	200 (19グループ)	203 (18グループ)	200 (18グループ)	228 (20グループ)	218 (20グループ)	200 (20グループ)
芝桜苗等配付	18小・中学校 3保育園	13小・中学校 4保育園	12小・中学校 3保育園	10小・中学校 5保育園	12小・中学校 5保育園	9小・中学校 5保育園	9小・中学校 5保育園

【実施内容】

1 人権啓発推進事業

職員向け人権啓発研修、区民を対象とした人権啓発講演会を実施します。

2 区庁舎環境整備事業

(1) 庁舎環境改善

来庁者や職員の意見をもとに、必要度・緊急度に応じて庁舎環境の改善を図ります。

(2) レイアウト変更

業務見直しに対応した、レイアウトの変更を行います。

3 市税啓発事業

来庁者が集中し混雑する申告期間に、専門家による申告相談を実施するとともに、要件ごとの窓口スムーズに案内することで、混乱防止、待ち時間の縮小等、申告体制の充実を図ります。(令和3年1～3月)

4 区政推進事業

南区運営方針を策定し、広く区民に周知するとともに、南区内で行われる事業に関し、四半期ごとの進行管理や関係機関との連絡調整を行います。

5 統計概要の作成

ニーズの高い項目に重点をおいた南区統計概要を作成します。

配付先・・・公共施設、関係部署、自治会・町内会、関係機関、一般区民(窓口、ホームページ掲載)

6 温暖化対策普及啓発事業

(1) 温暖化対策啓発事業

<対象>区内小学校 時期:随時

<内容>子どもたちが楽しみながら環境問題に興味を持つことができる出前講座開催を支援します。

(2) 緑のカーテン普及事業

<対象>区内在住・在勤のグループ(5～20名)、計 約200名

<内容>希望する地域のグループ等に対し、緑のカーテン栽培物品を提供します。また、物品提供時に参加者同士が知識や経験など自由に意見交換できる場を設けることで、温暖化対策とともに地域等のつながりづくりを図ります。

7 緑花推進事業【みどりアップ予算も活用】

(1) 緑花事業(芝桜等)

<対象>区内の市立小・中学校、市立保育園、公園愛護会

<内容>普及花「芝桜」をはじめとした花の種・苗等を、区内の市立小・中学校、保育園、公園愛護会へ配付します。

(2) 緑地管理事業 ※みどりアップ予算活用のため予算計上なし

<対象>市立小学校、公園愛護会

<内容>小学校校庭の芝生の維持管理を実施・支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 人権啓発推進事業	自 494	自 494	0	
(1) 業務改善	0	50	△ 50	
(2) 職員研修	494	444	50	
2 区庁舎環境整備事業	自 1,800	自 950	850	
(1) 庁舎環境改善	800	450	350	
(2) レイアウト変更	1,000	500	500	
3 市税啓発事業	自 780	自 745	35	
4 区政推進事業	自 690	自 690	0	
5 統計概要の作成	自 560	自 560	0	
6 温暖化対策普及啓発事業	自 192	自 392	△ 200	民間企業の出前講座活用による減
7 緑花推進事業	自 390	自 390	0	
庁舎移転に対応したバス乗継環境整備（広報）	自 0	自 1,046	△ 1,046	
事業費合計	4,906	5,267	△ 361	
内 自主企画事業費	4,906	5,267	△ 361	
内 訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

医療費控除確定申告受付及び相談件数、市申告書受付件数、統計概要配布実績（平成29年度）、緑のカーテン栽培登録団体数（令和元年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	野坂 高志 小松 徹 黒田 美夕紀	柴垣 涼 伊東 拓馬 工藤 謙一 竹内 貴美夫 佐々木 亮介	鈴木 惇 杉江 有香 石田 宏亜 迎 真里奈

予算区分	広聴広報相談費	性質・ 課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	-------------	-------	--------	-------

事業名	広報広聴事業
-----	--------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	3
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,624		105			1,519
前年度	1,624		105			1,519
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算	1,612	2,945	1,595
決 算	1,612	2,945	1,405
予 算	1,599	2,801	1,405
決 算	1,599	2,801	1,405

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	1,624	1,624
決 算	1,519	1,519

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	・市民からの提案・区政提案箱の受付・調整等を行います。 ・南区で安心して生活できるように、区民生活マップ等を発行し、南区の地理情報や行政情報及び施設情報、防災情報等を区民に提供します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等
 広聴・広報の充実、区民との協働により区政を進めていくうえで、欠かすことができません。区民の声を行政に生かすため、市民からの提案・区政提案箱などの広聴事業を着実に実施する必要があります。また、新しく南区へ転入してきた区民等に、早く地域に慣れてもらい、安心して生活できるよう南区の地理情報や行政情報及び施設情報、防災情報等を分かりやすく周知する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	8 その他
-------------	------------	--------	-------

2 運営方針等との関係
 令和元年度南区運営方針「着実に取り組む事業・業務」 丁寧な広聴・効果的な広報等の実施

3 根拠法令・要綱等
 「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱、南区「区政提案箱」事業の実施に関する事務取扱要綱、横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
市民からの提案・区政提案箱受付件数(通)	184	238	369	271	242	360	360
区民生活マップ発行部数	8,000	16,500	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

※R元年度以降は見込み数字
 ※区民生活マップ平成27年度は区庁舎移転のため2回発行(28年2月 3,000部、28年3月 13,000部)

【実施内容】

- ・市民からの提案・区政提案箱・団体陳情の受付・回答調整
- ・区庁舎窓口案内の運営(区庁舎窓口案内、各種広報印刷物の配布)、情報公開制度に係る開示請求の受付
- ・着ぐるみなどの活用による南区マスコットキャラクター「みなっち」の普及
- ・市ウェブサイトの南区ディレクトリの管理(全体調整など)
- ・区民生活マップの発行、転入者・希望者への配布(13,000部発行)

新しく南区に転入してきた方には、いち早く南区での生活に慣れ親んでもらえるよう、また、すでに南区にお住まいの方には、これからも快適に南区に住み続けられるよう、公共機関や市民利用施設等の位置情報、防災拠点や震災時の考え方等の防災情報、南区内を走るバスを網羅したバス路線図、様々な施設の場所が分かる地図情報など、生活に必要な情報を提供することで区民の満足度を高める工夫をしていきます。また、区民生活マップに関する情報発信は転入者への配布をはじめ、窓口での配布・配架及び、南区ホームページへの掲載などで引き続き行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報・広聴事業	自 1,624	自 1,624	0	
事業費合計	1,624	1,624	0	
内 自主企画事業費	1,624	1,624	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 住民基本台帳事務取扱件数、区民生活マップ前年度配布実績、広聴情報データベースシステム受付件数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 黒田 美夕起	係長 志村 公春	広報相談 係 岡野 康一
--------------------	--------------	-------------	-----------------

予算区分	街づくり推進費 広聴広報相談費	性質・ 課題区分	水・緑環境保全 広報・広聴	事業開始年度	平成16年度
------	--------------------	-------------	------------------	--------	--------

事業名	魅力発信・賑わいづくり事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	7
9	1

事業評価書 番号	4
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,800					2,800
前年度	2,800					2,800
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	5,020	2,490	2,800
算 メリット+一般財源	5,020	2,490	2,800
決 算 事業費	4,483	2,542	2,232
算 メリット+一般財源	4,483	2,542	2,232

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	2,800	2,800
算 一般財源	2,800	2,800

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みます。
---------------	------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	区の花「さくら」を中心とした、南区の魅力の向上や発信に取り組みます。
----------	------------------------------------

1 魅力向上の取組
 ・「南区さくら保全・活用計画」の趣旨を反映した「都市計画マスタープラン南区プラン」及び「横浜みどりアップ計画」に基づき、桜の保全・活用を行っていく必要があります。
 ・南区のシンボルである「さくら」を子どもたちに引き継いでいくため、区民の皆さまとともに「さくらを守り、育てる」という風土を、より一層醸成する必要があります。
 ・南区さくらの名木に指定した民有地の桜について、治療費等の助成をする必要があります。
 2 魅力発信の取組
 ・南区の魅力を積極的に区内外に発信し、南区を多くの人に知っていただく必要性があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針「賑わい」賑わいづくり・魅力発信
-------------	-----------------------------

3 根拠法令・要綱等	都市計画マスタープラン南区プラン、南区さくら保全・活用計画、南区さくらの名木保存に関する要綱、横浜みどりアップ計画
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

1 魅力向上の取組

(1) 区の花「さくら」普及啓発活動	H26	H27	H28	H29	H30	R1
①桜まつりブース出展	さくら木工教室	さくら木工教室	さくら木工教室	さくら木工教室	さくら木工教室	さくら木工教室
②南まつりブース出展	・さくら木工教室 ・みなっちとの記念 写真撮影	・さくら木工教室 ・普及啓発クイズ	・さくら木工教室 ・啓発物品配布	・さくら木工教室 ・普及啓発クイズ	南まつり中止のため 実施なし	・さくら木工教室 ・啓発物品配布
③学校への出前授業	藤の木小学校 蒔田小学校	大岡小学校			日枝小学校	調整中
④公園愛護会への支援	普及花の種・苗 (コスモス、芝桜) 124団体	普及花の種・苗 (コスモス、芝桜) 124団体	普及花の種・苗 (コスモス) 124団体	普及花の種・苗 (コスモス、芝桜) 125団体	普及花の種・苗 (コスモス、サクラソウ) 125団体	普及花の種・苗 (コスモス、サクラソウ) 125団体

※ ①②については、区民ボランティアと協働で実施

(2) 南区さくらの名木制度
 <補助実績>平成21年度 2件、平成28年度 1件
 名木の指定期間が順次終了し、令和2年度までにすべての指定が終了します。

※「さくらの記憶」(伐採木活用プロジェクト) ※職員実施のため予算計上無し
 ・平成22年度 応募45件(配布42件) ・平成27年度 応募42件(配布43件)
 ・平成23年度 応募24件(配布22件) ・平成28年度 応募24件(配布22件)
 ・平成24年度 応募24件(配布22件) ・平成29年度 応募10件(配布10件)
 ・平成25年度 応募31件(配布29件) ・平成30年度 応募9件(配布9件)
 ・平成26年度 応募14件(配布14件) ・令和元年度 応募9件(配布9件) 見込

※ 区の花「さくら」保全活動
 ・大岡川プロムナード全域の樹木診断(初期診断)を実施(平成28年6月～9月)

2 魅力発信の取組

- (1) **魅力発信マップ事業**
- ・平成27年度 南区ガイドマップの発行（2月）
大岡川プロムナードや横浜市営地下鉄各駅、区外・市外を含む京浜急行各駅等への桜の開花時期に合わせた集中配架（40,000部）
 - ・平成28年度 南区ガイドマップの増刷（6月、5,000部）
第33回全国都市緑化フェアの開催を記念したよこはまフェアPR記事掲載版南区ガイドマップの発行（3月）
横浜市営地下鉄各駅、区外・市外を含む京浜急行各駅等への桜の開花時期に合わせた集中配架（40,000部）
 - ・平成29年度 吉田新田350周年を記念し、吉田新田の情報を盛り込んだ南区ガイドマップの発行（9月）
横浜市営地下鉄各駅、区外・市外を含む京浜急行各駅等への桜の開花時期に合わせた集中配架（40,000部）
 - ・平成30年度 横浜市営地下鉄各駅、区外・市外を含む京浜急行各駅等への桜の開花時期に合わせた集中配架
写真を中心に南区の魅力を発信するイメージフォトブックのウェブ上での公開
 - ・令和元年度 横浜市営地下鉄各駅、区外・市外を含む京浜急行各駅等への桜の開花時期に合わせた集中配架
イメージフォトブックの更新
- (2) **民間事業者等との連携による魅力発信事業**
- ・平成26年度 京浜急行との連携によるイベント「横浜市南区×京急 桜Festival」の開催（3月、南公会堂、来場者480人）
 - ・平成27年度 京浜急行との連携によるウォーキングイベント「京急×南区 桜ウォーキング」及び著名人による写真の撮り方講演会の開催（3月、延べ750人参加）
 - ・平成29年度 横浜まちかど遺産探検隊と連携した吉田新田350周年写真展の開催（9月、来場者250人）
都市整備局と連携したベイバイクポートの環境整備を実施
 - ・平成30年度 交通局と調整し壁面情報が古くなった案内サインの撤去
 - ・令和元年度 民間事業者等との連携による区外からの誘客促進の取組の実施

【実施内容】

南区の魅力である区の花「さくら」を主軸とした事業を、「魅力向上の取組」と「魅力発信の取組」として実施

1 魅力向上の取組

南区の魅力を区内のみならず区外へも発信するために、まずは南区自身の魅力を高める必要があります。「さくら」を中心とした南区の潜在的な魅力の向上に資する事業を実施します。

- (1) **区の花「さくら」普及啓発活動**
- ・区内の小学生を対象に、区民ボランティアや樹木医等有識者等による、区の花さくらに親しむための出前講座を実施します。
 - ・南まつり・桜まつりのさくら普及啓発ブースでの、桜の材を用いた木工教室等、区民への普及啓発活動を実施します。
- (2) **南区さくらの名木制度**
- 「南区さくらの名木」の新規指定は平成21年度に終了していますが、「南区さくらの名木保存に関する要綱」に基づき、令和2年度まで「南区さくらの名木」に指定した桜の樹木診断費用、樹木治療費用の一部を助成します。
- また、名木に指定された桜は平成29年度末から順次指定終了となるため、看板の撤去・処分を行います。令和元年度末に指定終了となる名木については、令和元年度中にその旨を通知します。

※「さくらの記憶」（伐採木活用プロジェクト） ※職員実施のため予算計上無し
大岡川プロムナードの再整備により伐採される桜の材を、区民の皆さまや学校、公共施設等に提供し、活用してもらいます。

2 魅力発信の取組

さくらの開花時期を中心とした、積極的な南区の情報・魅力発信を区内外に対して行います。

- (1) **魅力発信マップ事業**
- 南区の桜やみなみやげ等の魅力に加え、より詳細な魅力を知ることが出来るよう工夫した南区ガイドマップを作成し、鉄道駅や公共施設等とともに、市内のオリンピック・パラリンピック会場等で配架します。
また、令和元年度に更新したイメージフォトブックを活用し、魅力発信方法を充実させます。
- (2) **民間事業者等との連携による魅力発信事業**
- 民間事業者等と連携し、区外からの誘客促進につながる取組を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 魅力向上の取組			0	
(1)区の花「さくら」普及	自 230	自 230	0	
(2)南区さくら名木制度	自 70	自 70	0	
2 魅力発信の取組			0	
(1)魅力発信マップ事業	自 2,000	自 2,000	0	
(2)民間事業者等との連携	自 500	自 500	0	
事業費合計	2,800	2,800	0	
内 自主企画事業費	2,800	2,800	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

南区さくらの名木登録件数（令和元年7月）、南区ガイドマップ配架数実績（30年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	黒田 美夕起	佐々木 亮介	迎 真里奈

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 地域振興 課]

No.	4
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成18年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名
みなみ商店街等活性化事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,700					2,700
前年度	2,700					2,700
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	2,250	2,250	2,150
メリット+一般財源	2,250	2,250	2,150
決算 事業費	2,241	2,207	2,461
メリット+一般財源	2,241	2,207	2,461

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	2,700	2,700
一般財源	2,700	2,700
方針に関する決裁種別()		
有:件名()、日付(年月)		
(無)		

事業の概要(目的)	地域コミュニティの核としての役割を果たしている商店街の活性化及び地域経済の活力を維持するとともに、地域との連携を促進し賑わいの創出や魅力アップの取り組みを行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

商店街については、南区においても加入店舗数、商店街数とも減少しています。地域経済の活性化及び地域コミュニティの担い手としての役割を果たしていくため、商店街と協働で商店街の魅力高め、来街者の増加を図るほか、商店街が自主的活動を行うよう支援していくことが必要となります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	5 区民アンケート
-------------	------------	-------------	-----------

2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針「賑わい」・商店街活性化
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動に関する法律 横浜市商店街の活性化に関する条例 横浜市南区商店街活性化イベント助成事業補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度見込
イベント助成申請数	4件	4件	5件	6件	6件	6件	6件
区内商店街数	11	11	11	11	9	8	8

【実施内容】

- 商店街活性化イベント補助事業
地域のふれあいや賑わいを創出する魅力ある商店街づくりや活性化を目的とした商店街が中心となって実施するイベント事業に対して補助金を交付します。
- 商店街等活性化支援事業
南区商店街連合会と協働でイベント等を企画実施するとともに、オリンピック・パラリンピック開催に合わせた商店街の取組等を支援し、各商店街への利用者拡大を図ります。また、商店街や地元企業と地域の連携を促進します。
 - 商店街朝市・商店街フェスタ
南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、より南区内の商店街を広く区民の皆様に周知する場として南区商店街連合会との連携で開催します(2回実施、場所：区役所ロビー等)
 - 商店街等地域連携促進事業
商店街は、地域の交流の場となる賑わいイベント等を実施していますが、高齢化社会が進む中で、消費者や地域の方々から地元商店街の活性化を期待されています。このような中、今後の商店街活性化の活動を、商店街組織のみならず、住民や地域関係者などにも応援してもらう体制を構築するため、商店街ボランティア(通称：商店街サポーター)を募集し、商店街活性化の取り組みを地域全体で応援することで、地域住民の活動の場を提供するとともに、地域全体の活性化につながる取り組みとなるよう支援します。また、地域を事業の基盤としている商店街や地元企業に対して、地域課題解決への貢献が期待されており、連携・協働のもと促進を図ります。
 - 商店街PR事業
商店街プロモーションビデオの放送及び各商店街が制作しているパンフレットについて、市内各所での放映、配架を行い、住民・来訪者・旅行者など、広く目に留まるようPRを行います。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街活性化イベント補助	自 500	自 500	0	
商店街等活性化支援事業	自 2,200	自 2,200	0	
事業費合計	2,700	2,700	0	
内 自主企画事業費	2,700	2,700	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	姫浦 尊	中盛 敦司	菫沢 栄一

(南 区 - 4)

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	南区あったかいふるさとまつり事業
-----	------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	11,700					11,700
前年度	10,710					10,710
増△減	990	0	0	0	0	990

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	6,550	9,250	9,550
算 メリット+一般財源	6,550	9,250	9,550
決算 事業費	6,550	13,050	8,519
算 メリット+一般財源	6,550	13,050	8,519

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	11,700	11,700
算 一般財源	11,700	11,700

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	それぞれに特徴あるまつりを通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、区民と区内各種団体の協力によりいきいきとした区づくりを推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	春、夏それぞれの風物詩として区内外の方々から親しまれており、市外からも多数の来場者がある事業として、魅力ある区づくりには欠かせないものとなっています。各まつりを通して、区民の「ふるさと意識」の向上、街の活性化等に取り組むとともに、区民が主体となって実施することで、地域の力の向上に繋げていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針「賑わい」 ・南区4大まつりの開催
3 根拠法令・要綱等	南区区民まつり実施要項、南まつり事業補助金交付要綱、南区桜まつり事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度見込
南まつり	延べ7万人	延べ7万人	延べ7万人	中止	延べ5万人(1日開催)	延べ7万人
桜まつり	延べ15万人	延べ15万人	延べ15万人	延べ15万人	延べ15万人	延べ15万人

【実施内容】

1 第45回南まつり

- (1) 補助対象団体 南まつり実行委員会
- (2) 内容 盆踊り、絵どろろう、ステージイベント等(実行委員会との協議により決定。)
- (3) 開催時期 令和2年7月

2 第30回南区桜まつり・第31回南区桜まつり

- (1) 補助対象団体 南区桜まつり実行委員会
- (2) 内容 大岡川プロムナード桜のライトアップ、ステージイベント、模擬店・バザー等(実行委員会の協議により決定)
- (3) 開催時期 令和2年3月下旬～4月上旬・令和3年3月下旬～4月上旬
- (4) 会場 蒔田公園、大岡川プロムナード

※ 南まつり・南区桜まつりにおいて、オリンピック・パラリンピック開催に合わせ関連ブースを取り入れるなど実施内容を実行委員会と協議により決定。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 南まつり補助事業	自 5,300	自 4,760	540	安全対策(警備委託、暑さ対策)による増
2 南区桜まつり補助事業	自 6,400	自 5,950	450	設営費の増(トイレ水洗化、増設)
事業費合計	11,700	10,710	990	
内 自主企画事業費	11,700	10,710	990	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

南まつり、桜まつり来場者数調べ

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 姫浦 尊	係長 中盛 敦司 田邊 吉広	地域活動・区民活動推進 係 向坪 亮 森田 秀
--------------------	------------	----------------------	-------------------------------

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 地域振興 課]

No.	6
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成23年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名
みなみチャレンジごみ減量事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	3, 6
12	1, 2

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,961					4,961
前年度	4,643					4,643
増△減	318	0	0	0	0	318

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	3,839	3,705	4,578
決算 メリット+一般財源	3,839	3,705	4,578
決算 事業費	3,221	3,286	4,043
決算 メリット+一般財源	3,221	3,286	4,043

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費		
決算 一般財源		
	方針に関する決裁 種別()	
	有:件名()、日付(年月)	
	(無)	

事業の概要(目的)	横浜市一般廃棄物処理計画(ヨコハマ3R夢プラン)の南区削減目標達成に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、ごみのないまちづくりを推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

ヨコハマ3R夢プランの南区削減目標に対する燃やすごみの排出量は、平成30年度実績で目標を6g上回り、目標値を3年ぶりに達成でき、着実に削減が進んでいる。継続して、目標を達成するため、燃やすごみの発生抑制・減量化および街の美化については引き続き強力に取り組んでいく必要がある。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望		
-------------	------------	--------	--	--

2 運営方針等との関係

令和元年度南区運営方針「着実に取り組む事業・業務」
ヨコハマ3R夢プランと街の美化の推進

3 根拠法令・要綱等

環境基本法、循環型社会形成推進基本法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

1 目標達成状況(30年度)

- (1)燃やすごみ 年間総排出量 29,306トン 排出原単位 411g(対21年度比▲52g)
 - (2)その他(資源等) 年間総排出量 13,597トン 排出原単位 191g(対21年度比▲44g)
- 食べきりクッキング教室を春・秋に実施した。

2 南区の年間目標(元年度)

- (1)燃やすごみ 年間総排出量 29,617トン 排出原単位 417g(対21年度比▲46g)
- (2)その他(資源等) 年間総排出量 13,721トン 排出原単位 193g(対21年度比▲48g)

3 燃やすごみの排出量及び排出原単位(1人1日あたりの量)の推移 ※各年度4~7月の実績で比較

年度	排出量				排出原単位				区人口
	目標(t)	実績(t)	差(t)	差(%)	目標(g)	実績(g)	差(g)	差(%)	
令和元年度	10,316	10,177	▲139	▲1.4	426	426	0	△0.0	195,795
平成30年度	10,246	10,173	▲73	▲0.7	436	427	▲9	▲2.1	195,373
平成21年度		11,650				484			197,175

(参考)ヨコハマ3R夢プランの目標(平成30年度)

- (1)全市から排出されるごみと資源の総量を対21年度比▲10%削減
(南区の令和元年度の削減目標は令和元年度当初に決定する)
- (2)ごみ処理(本市焼却工場)に伴って発生する温室効果ガス排出量を対21年度比▲50%以上削減

【実施内容】

1 ヨコハマ3R夢プラン推進事業

(1)地域でチャレンジごみ減量プロジェクト

南区の燃やすごみ量を減らすため、2つの重点分野(①分別徹底(プラスチック容器包装)、②食品ロスの削減)について、自治会町内会と連携し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を毎年各2地区(計4地区)ずつ実施する。

(2)リデュースプロジェクト ごみ発生抑制

・「もったいない」を合言葉に、食べ残しや手つかず食品の排出をなくし、使い捨てでない物を使っていくことが、ごみの発生抑制につながる行動であることを訴え、事業者や地域団体と連携した取組を推進する。現在78店舗ある食べきり協力店の拡充を行うとともに、食材を余らせずに使い切るクッキング教室を春に実施する。

- ・ワンウェイプラスチックの発生抑制に資する「リユース食器」の地域での利用を支援する。
- ・リサイクル現場等への親子見学ツアーを開催し、食品ロス削減の取組への理解を深める。

(3) 3 R夢啓発事業

区民の集まる場所（スーパーの店頭・イベント・キャンペーン）での啓発活動を強化するとともに、幼稚園・小学校に訪問しての出前講座など様々な場面でごみの減量を呼び掛け、年間をとおして区民の方々へ目標の達成に向け啓発活動を進める。

また、減量講習会を開催するとともに、外国人や高齢者などにきめ細かい啓発活動を行う。

(4) 単身世帯対策

転入の機会に加盟店舗の皆さまから転入者に対し、分別や粗大ごみの案内を行っていただけるよう、神奈川県宅地建物取引業協会南支部に依頼し、啓発用のリーフレットの配架を行い、ごみの分別意識啓発の強化を図る。

特に課題のあるごみ集積場所に多言語の分別告知パネルを掲出し、利用者に直接啓発する。

2 南区つながり清掃ウォーク、不法投棄・不適正排出防止事業

地域、事業者、学校などの輪が広がることを目指す清掃活動「つながり清掃ウォーク」を実施するほか、地域の集積場所の見回り等による不適正排出防止の取組、花見・落葉期における大岡川プロムナードの清掃活動行う。

(1) 南区つながり清掃ウォーク

2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックに向けて、きれいな街でおもてなしの心をもって来訪者を迎えながら、「地域の輪」を広げていくきっかけをつくるため、地域・事業者・学校などそれぞれが独自で行っているクリーンアップ活動を一緒に行い、街の美化だけではなく、多世代交流、健康促進など、横のつながりを持った活動に繋げる。30年度参加者は延べ3,000人を超え、今後も参加者の増加を見込む。

(2) にぎわい空間の清掃活動

・大岡川プロムナードの清掃活動（委託事業、花見・落葉期の4か月）を実施する。環境事業推進委員の協力による地域の集積場所の見回りにおいて、早朝啓発や防止ステッカーの貼付等により不適正排出防止の取組を推進する。また、美化推進重点地区（弘明寺駅・南区庁舎周辺）での啓発活動及び大岡川プロムナードの清掃活動を実施する。

・不法投棄排出防止看板等告知物のデザインを刷新し、関係者と連携して不適正排出防止の取組を推進する。

3 南区環境にやさしい街づくり推進本部会議

区推進本部会議を開催するとともに、ごみの減量・分別、地域の美化等に功績があった区民、団体、企業等を表彰する。

(1) 推進本部会議・功労者表彰式

推進本部会議の開催（6月）、地域推薦等による功労者表彰式の実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ヨコハマ3R夢プラン 推進事業	自 2,607	自 2,982	△ 375	
つながり清掃ウォーク、不法 投棄・不適正排出防止事業	自 2,219	自 1,531	688	イベント回数増
南区環境にやさしい街づくり 推進本部会議	自 135	自 130	5	
事業費合計	4,961	4,643	318	
内 自主企画事業費	4,961	4,643	318	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

ヨコハマ3R夢プランごみと資源排出量の目標及び実績、 南区町別世帯と人口（30年7月末）、南区つながり清掃ウォーク参加者数調べ（29年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係(資源化担当)係
	須賀 一裕	瀬藤 悦弘	中村 春生

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 地域振興 課]

No.	7
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名
地域住民組織との連絡調整事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	8
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,480					3,480
前年度	3,445					3,445
増△減	35	0	0	0	0	35

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	2,347	2,171	2,988
メリット+一般財源	2,347	2,171	2,988
決算 事業費	2,106	2,077	3,273
メリット+一般財源	2,106	2,077	3,273

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	3,480	3,480
一般財源	3,480	3,480

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

現在自治会町内会が抱えている最大の問題点は、若年層の自治会町内会離れによる構成員及び役員の担い手不足です。これにより、自治会町内会活動の縮小化、区政の連絡調整だけではなく、街の安心・安全、資源化活動などへの影響が考えられます。しかし、自治会町内会の存在意義は非常に大きく、魅力ある住民組織として発展していくことが、明るい地域づくりに繋がっていくため、その運営の負担を軽減する事業が必要となります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
-------------	------------	---------	-------------

2 運営方針等との関係

令和元年度南区運営方針「着実に取り組む事業・業務」

3 根拠法令・要綱等

南区民表彰要綱、南区民表彰事務取扱要領

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込み
自治会町内会数	207	206	206	207	207
南区加入率	79.7%	78.6%	77.6%		
横浜市加入率	74.8%	74.1%	73.4%		

【実施内容】

1 配送業務の委託

自治会町内会への配布物を各団体が指定する場所に配送します。

2 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施

- ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日頃の労苦に感謝の意を表するため、感謝会を開催します（5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈）。
- ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈します。

3 自治会町内会加入促進

- ・宅建協会横浜南部支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めます。
- ・加入促進リーフレットを子育て等の若い世代が利用する公共施設等で配付し、将来の担い手確保につなげます。
- ・加入促進多言語版リーフレットを使用して加入促進の啓発を行います。
- ・防犯事業等、他の事業と連携し加入促進の啓発を行います。

4 補助金説明会（相談会）の実施

地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金について、新しく役員になった方々の負担軽減を図り、且つ、受付から補助金支出までをスムーズに行うため、説明会又は相談会を実施します。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 配送業務の委託	自 1,717	自 1,717	0	
2 自治会町内会長感謝会の開催 及び永年役員表彰の実施	自 1,083	自 1,048	35	表彰対象予定者の増
3 自治会町内会加入促進	自 650	自 650	0	
4 補助金説明会（相談会）	自 30	自 30	0	
事業費合計	3,480	3,445	35	
内 自主企画事業費	3,480	3,445	35	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	姫浦 尊	中盛 敦司	俵 恵利子

(南 区 - 7)

予算区分	地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	国際交流	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	-------------	------	--------	--------

事業名
みなみ多文化共生推進事業

特記事項
中期計画-38の政策 ○
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
4	5

事業評価書 番号	9
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	9,313					9,313
前年度	8,535					8,535
増△減	778	0	0	0	0	778

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	8,298	8,043	8,353
算 メリット+一般財源	8,298	8,043	8,353
決 算 事業費	7,269	8,133	8,344
算 メリット+一般財源	7,269	8,133	8,344

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	9,313	9,313
算 一般財源	9,313	9,313

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	南区で暮らす外国籍等住民と、地域の住民が、互いに気持ちよく生活できるように、通訳ボランティアの配置・多言語ガイドの配布による外国籍等住民への情報提供や生活相談等を充実させるとともに、地域の力を利用し、外国籍等住民とともに地域を支援する人材を育成します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・南区は外国籍等住民の人口が市内で3番目に多く、言語や生活文化の違い等から生活上の問題を抱えている地域もあります。支援が必要な外国籍等住民への事業はもちろん、地域と協力しながら外国の文化を互いに知り、交流することで、国籍に関わらず、誰もが暮らしやすい南区を実現していく必要があります。</p> <p>・日本語や日本の文化に不慣れで情報が伝わりにくい親子に対し、子育て支援の様々な施策について、適切に周知し、支援をしていく必要があります。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「賑わい」 ・多文化共生
-------------	-----------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市国際交流ラウンジの設置及び運営に関する指針、南区国際交流ラウンジ要綱、学校を核にした多文化共生事業実施要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 外国人共生支援事業	<p>●外国籍等住民へのサポート件数 ※基準:相談数+市ボランティア派遣+南区独自ボランティア派遣+専門相談</p> <table border="1"> <tr> <th>平成27年度実績</th> <th>平成28年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>2,771件</td> <td>3,438件</td> <td>3,586件</td> <td>3,631件</td> <td>3,700件</td> <td>3,700件</td> </tr> </table> <p>※平成22年10月1日～国際交流ラウンジ開設</p> <p>●日本語ボランティア養成講座受講者人数(23年度以降は毎講座で受講者募集)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成27年度実績</th> <th>平成28年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>入門編</td> <td>延べ168人</td> <td>延べ62人</td> <td>延べ40人</td> <td>延べ122人</td> <td>延べ170人</td> <td>延べ170人</td> </tr> <tr> <td>スキルアップ</td> <td>延べ108人</td> <td>延べ94人</td> <td>延べ56人</td> <td>延べ50人</td> <td>延べ100人</td> <td>延べ100人</td> </tr> </table> <p>●生活支援啓発事業通訳等依頼件数</p> <table border="1"> <tr> <th>平成28年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度実績</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>15件</td> </tr> </table> <p>●外国籍等青少年の交流事業 外国籍等青少年の地域でのつながりの強化や、地域・社会での活躍促進を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交換会(6月・7団体参加)、外国籍等青少年向けに交流会(8/23・33人参加)を実施しました。</p>	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	2,771件	3,438件	3,586件	3,631件	3,700件	3,700件		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	入門編	延べ168人	延べ62人	延べ40人	延べ122人	延べ170人	延べ170人	スキルアップ	延べ108人	延べ94人	延べ56人	延べ50人	延べ100人	延べ100人	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み	5件	11件	10件	12件	15件
平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																																							
2,771件	3,438件	3,586件	3,631件	3,700件	3,700件																																							
	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																																						
入門編	延べ168人	延べ62人	延べ40人	延べ122人	延べ170人	延べ170人																																						
スキルアップ	延べ108人	延べ94人	延べ56人	延べ50人	延べ100人	延べ100人																																						
平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み																																								
5件	11件	10件	12件	15件																																								
2 学校を核にした多文化共生事業	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度見込み</th> <th>令和2年度見込み</th> </tr> <tr> <td>対象数</td> <td>1校</td> <td>4校</td> <td>5校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> <td>6校</td> </tr> </table>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込み	令和2年度見込み	対象数	1校	4校	5校	6校	6校	6校																													
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込み	令和2年度見込み																																						
対象数	1校	4校	5校	6校	6校	6校																																						
3 通訳ボランティア配置事業	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度(見込)</th> <th>令和2年度(見込)</th> </tr> <tr> <td>通訳ボランティア支援件数</td> <td>634</td> <td>1,966</td> <td>2,000</td> <td>2,037</td> <td>2,150</td> <td>2,250</td> </tr> </table>		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込)	令和2年度(見込)	通訳ボランティア支援件数	634	1,966	2,000	2,037	2,150	2,250																													
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込)	令和2年度(見込)																																						
通訳ボランティア支援件数	634	1,966	2,000	2,037	2,150	2,250																																						
4 不適正ごみ排出防止対策事業	<p>・ごみの分け方・出し方について多言語(英語、中国語、ハングル)の教材を製作し、みなみラウンジや日本語学校に提供しました。</p> <p>・不適正排出防止ステッカー(英語・中国語)等を作成し、集積場所へ貼付します。</p>																																											

【実施内容】

1 外国人共生支援事業

- ・ 外国籍等住民への支援に関わるボランティアを育成するため、地域の力を生かし、日本語学習をサポートしているボランティアに向けて、日本語ボランティアスキルアップ講座等を開催します。
- ・ 通訳付き無料専門相談：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジで定期的に、弁護士、行政書士、教育関係者等の専門家による法律(第2木曜)、在留(第3木曜)、教育(第4木曜)相談を実施します。
- ・ 多言語情報紙の発行(年4回)やホームページ等により外国籍等住民に必要な情報を提供します。
- ・ 外国籍等住民が多い地域等で、地域全体が気持ちよく生活できるよう、ごみの分別、防災等の地域が実施する啓発事業に対し、通訳の派遣、チラシ等の翻訳を実施します。
- ・ 外国籍等青少年の交流事業において、オリンピック・パラリンピックの開催に合わせパブリックビューイングなどの場を活用し、多様な人々が参画するイベント等を通じ、地域におけるつながりの強化や活躍の促進を図ります。

2 学校を核にした多文化共生事業

- ・ 外国籍等の児童が多い小学校に対して、多言語ボランティアを配置し、多文化共生に資する取組を支援します。オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、特に、スポーツに関連する取組を推進します。
また、保護者や地域の方々が参加できるような形で実施することにより、地域における多文化理解を深めるとともに、ボランティアとして関わる契機とします。
- ・ ボランティア初心者向けの研修会を実施します。

3 通訳ボランティア配置事業

- ・ 区役所に来庁された日本語による意思疎通が難しい外国籍等住民への区役所での手続き等の支援をするため、通訳ボランティアを配置します(英語:週2回、中国語:週5回の午後)。また、通訳ボランティアについての情報発信は南区ホームページをはじめ、広報紙、外国人転入者用ガイド、外国人が集まる施設(みなみラウンジ他15か所)で配布する案内チラシにて引き続き行います。
- ・ 南区に転入された外国籍等住民が安心して生活できるように、区政情報や官公署などの情報を掲載した多言語ガイドを配布します。

4 多言語による子育て支援事業

- ・ 乳幼児健診時に通訳を派遣します。(中国語・英語・タガログ語)
- ・ 乳幼児健診DVDの外国語版(中国語・英語)を作成します。
- ・ 子育てに関する各種相談窓口を紹介する「子ども家庭相談リーフレット」の外国語版(中国語・英語・タガログ語・ハングル)を作成し、区内の幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校及び関係機関などに配布します。
- ・ 保育所利用案内の翻訳を行います。(タガログ語・ハングル)
- ・ 放課後キッズクラブのお知らせの翻訳を行います。(中国語・英語・タガログ語等)

5 不適正ごみ排出防止対策事業

- ・ ごみの分別についての教材を作成し、みなみラウンジや日本語教室で講座を行うほか、地域のイベント等でも啓発します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 外国人共生支援事業	自 2,098	自 2,098	0	
(1) ラウンジ運営費	1,840	1,840	0	
(2) 生活支援啓発事業通訳等派遣	120	120	0	
(3) 事務費	138	138	0	
2 学校を核にした多文化共生事業	自 1,070	自 1,040	30	研修経費の増
3 通訳ボランティア配置事業	自 3,780	自 3,780	0	
4 多言語による子育て支援事業	自 2,105	自 1,355	750	外国語版DVD作成による増
5 不適正ごみ排出防止対策事業	自 260	自 262	△ 2	
事業費合計	9,313	8,535	778	
内 自主企画事業費	9,313	8,535	778	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

外国人人口推移、国籍別外国人人口、南区生活支援啓発事業通訳等実施要領、乳幼児健診受診者数、リーフレット作成実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動・広報相談・ 子ども家庭 係
	姫浦 尊 黒田 美夕起 小田川 紀可	三木 淳 志村 公春 杉崎 由樹	山口 友美 岡野 康一 涌井 修二

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 総務
福祉保健
高齢・障害支援 課]

No.	9
-----	---

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・ 課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	-------------	----	--------	-------

事業名
みなみ減災推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	1~6

事業評価 書番号	10
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	14,867					14,867
前年度	16,928					16,928
増△減	△ 2,061	0	0	0	0	△ 2,061

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	7,110	14,521	13,299
メリット+一般財源	7,110	14,521	13,299
決 算 事業費	6,517	16,017	13,696
メリット+一般財源	6,517	16,017	13,696

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	16,000	16,000
一般財源	16,000	16,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、被害を最小限に抑える「減災」に向けた防災活動に取り組みます。 ・防災計画の見直しに伴い、災害時においても安定した医療を提供できるよう、南区災害医療連絡会議の開催、医療関係物品の購入を行い、災害医療体制の充実を図ります。 ・災害時に被害の発生を最小限に抑えるため、区内の全自治会町内会で災害時要援護者の把握や平時からの見守り体制づくりを協働で進めます。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・南区は被害想定により甚大な被害が予測されており、区民・行政が一体となった減災対策が必要です。特に建物倒壊及び火災延焼などの被害軽減のためには、自助・共助力を強化することが課題です。</p> <p>・災害時における災害医療体制の強化と周知及び看護職の確保等が課題となっています。</p> <p>・南区は災害時に自力で避難が困難な単身高齢者が多いこと、地盤が弱い低地や急傾斜地、年数の経過した木造家屋が密集する地域が多いため、震災等で大きな被害が出る可能性があります。そのため、自治会町内会の共助として、いざという時に備えた平時からの顔の見える関係づくり(災害時要援護者の把握、名簿づくり等)が必要です。災害時要援護者名簿作成・更新手続への対応、個人情報保護研修への対応、地域の実情に応じた取組や継続への支援が必要になってきます。</p>		
----------	---	--	--

地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	---------	-----------	--------

2 運営方針等との関係	<p>令和元年度南区運営方針 「減災」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助・共助意識の向上 ・災害時要援護者取組支援 ・緊急時における迅速、確実な連絡体制の確保
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	<p>災害対策基本法・土砂災害警戒区域における土砂災害防止対策の推進に関する法律・横浜市防災計画・横浜市震災対策条例・横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例・南区防災計画・南区家具転倒防止器具補助事業実施要綱・南区ガラス飛散防止フィルム設置補助事業実施要綱・南区災害医療連絡会議運営要綱・南区災害時要援護者支援 区の名簿の受領・活用の手引</p>
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- 1 災害対策本部運営強化事業

本部及び土砂災害時の避難所の備品等を購入及び更新し、運営機能の充実を図るとともに、緊急時における迅速、確実な連絡体制を維持します。
- 2 災害医療体制強化事業

南区災害医療連絡会議：年1回、南区災害医療物品等研修会：年1回、南区医療救護隊訓練：年1回、のぼり旗掲出訓練：年2回、非常用通信訓練：年6回
- 3 災害時要援護者支援事業
 - (1) 区保有名簿の作成・更新

健康福祉局から提供されるデータにより名簿を作成し、区が保有する名簿を毎年更新します。
 - (2) 地域の支援者向け会議の開催(手続の説明、個人情報保護研修、事例発表など)

要援護者支援に関する研修会、地域の取組事例発表会等を開催します。
 - (3) 災害時要援護者名簿・活動支援物品の地域への提供
 - ・H20年度からモデル事業を実施し(H20：4か所、H21：29か所)、H22年度から全自治会町内会に提案をし、現在は、全207自治会町内会のうち、約9割の自治会町内会が取組を行っています。
 - ・平成25年の災害対策基本法の改正(名簿の作成義務・地域団体への名簿の提供)により、26年度以降改めて自治会町内会との協定の再締結を進めてきました。30年度末時点で140の有効な協定があり、今後も名簿を提供していない自治会町内会に対して働きかけを行います。

- 4 地域防災拠点運営強化事業
地域防災拠点訓練の支援強化のため、資機材取扱研修を拡充します。
- 5 防災啓発事業
地域への出前講座、要援護者支援に関する説明会、若年層向け講座等を開催します。

6 自助共助支援事業

(1) 家具転倒防止器具の購入費を一部補助

	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
補助件数	15件	49件	50件	60件

(2) ガラス飛散防止フィルムの設置費を一部補助

	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
補助件数	11件	26件	15件	30件

(3) 感震ブレーカー購入・設置費用の一部補助

地震による火災の延焼防止のため、総務局が実施している感震ブレーカー購入設置補助事業に上乘せの補助を実施します。

【実施内容】

地域の災害からの被害軽減に向けて公助機能の維持・強化を図るとともに、地域の防災力向上を目指し住民一人ひとりの自助対策や、自治会・町内会の共助力向上を支援する事業に力を入れていきます。

1 災害対策本部運営強化事業

災害対策本部の強化として備蓄品、備品等の更新及び風水害時の避難所運営や災害時ボランティア等に必要な物品等を購入するとともに、緊急時に電話、FAX、Eメールなど複数のツールによる情報伝達手段を確保します。

2 災害医療体制強化事業

(1) 南区災害医療連絡会議

災害時に迅速かつ有効な対応ができるよう、医療関係団体等と災害時の医療体制について意見交換や情報共有を行います。

(2) 災害医療体制整備

災害時に必要な医療関係の物品を購入し、災害医療体制の強化を図ります。

南区医療救護隊訓練：災害時の医療救護隊の活動を想定し、医療救護拠点にて災害時の診療シミュレーション訓練と災害時救急病院との通信訓練を実施します。

南区災害医療物品等研修会：医療救護隊の活動で使用する物品の確認、点検、検討等を実施します。

(3) 災害医療体制の普及啓発

災害時の医療活動を効果的に展開するため、区民向けにチラシ等の啓発物品を配布し、機会を捉えて南区の災害医療体制の普及啓発を図ります。

3 災害時要援護者支援事業

(1) 区保有名簿の作成・更新

区が保有する名簿を健康福祉局から提供されるデータに基づき更新します。

(2) 地域の支援者向け会議の開催

見守り活動を行っている地域の支援者やこれから活動を行おうと考えている方々に対し、名簿提供方法の説明会のほか、個人情報取扱いや名簿を活用した取組事例を紹介する研修会等を開催します

(3) 災害時要援護者名簿・活動支援物品の地域への提供

区と協定を締結した自治会へ区の保有する要援護者名簿を提供するとともに、地域における要援護者支援の取組を支援するため、活動等に役立つ物品等を提供します。

4 地域防災拠点運営強化事業

各地域防災拠点の資機材の点検・修繕を実施します。また、各拠点での防災資機材取扱研修や横浜防災ライセンス保持者のスキルアップ講習を支援します。

5 防災啓発事業

防災フェアを開催し、啓発冊子・パンフレットの配布、防災用品展示等を通して地域住民の自助・共助意識の向上を図ります。また、自治会・町内会や若年層を対象に防災出前塾を開催し、災害時の自助・共助の必要性・重要性を啓発します。そのほか小・中学生など若年層の防災意識を高めるため市民防災センターのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援します。さらに子育て世代を対象にした親子向け啓発冊子を作成し、啓発ルートの拡大を図ります。

6 自助共助支援事業

家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカーなど自助対策の支援を行います。また、南区防災マップの種類を拡充し、より多くの区民へ災害リスクの周知や減災意識の啓発に努めます。

(1) 南区家具転倒防止器具取付補助事業

地震発生時における人的被害の軽減を目的に、家具転倒防止器具の設置に支援が必要な高齢者等に対し、器具の選定に関する相談や、器具購入代金の一部を補助します。

<対象者>

南区在住で、南区長が定める要件を満し、設置を希望する者。

<補助内容>

①器具の取付けは横浜市と協働する事業者が実施します。

②取付の際に購入した器具購入代金の約2/3を南区が補助します。（申請者負担：器具購入代金の1/3）

※重点対策地域の補助率は9割（申請者負担：器具購入代金の1割）

※要綱に定める上限額を超えた場合は申請者負担

(2) ガラス飛散防止フィルム設置補助事業

破損した窓のガラス片による怪我を防ぐために、高齢者等に対しガラス飛散防止フィルム設置費用の一部を補助します。

<対象者>

南区在住で、南区長が定める要件を満し、設置を希望する者。

<補助内容>

①設置は南区と協働する事業者が実施します。

②設置費用の2/3を南区が補助します。（申請者負担：費用の1/3）

※原則はガラス飛散防止フィルム購入代金の2/3を補助しますが、南区長が定めた上限額を超える額は申請者負担

(3) 感震ブレーカー設置補助事業

地震による火災の延焼防止のため、総務局危機管理室が実施している感震ブレーカーの購入・設置費用の一部補助に上乗せして補助し、設置者の負担軽減を図ります。

<対象者>

「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」対象地域を区域を含む自治会町内会

<補助内容>

①器具・設置費用の2/5を南区が補助します。（総務局危機管理室の補助とあわせると、申請者負担は費用の1/10）

(4) 南区防災マップの種類拡充

南区防災マップについて、多くの人々に伝わりやすい「やさしい日本語」での表記など、よりわかりやすい内容で種類を拡充します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 災害対策本部運営強化事業	重 4,471	重 2,860	1,611	通信費の計上による増
2 災害医療体制強化事業	重 604	重 744	△ 140	前年度実績に基づく減
3 災害時要援護者支援事業	重 3,539	重 3,323	216	前年度実績に基づく減
4 地域防災拠点運営強化事業	重 2,230	重 2,000	230	資機材の点検・修理実績に基づく増
5 防災啓発事業	重 1,601	重 651	950	啓発事業（バスツアー）拡大による増
6 自助共助支援事業	重 2,422	重 7,350	△ 4,928	防災マップ作成完了による減
事業費合計	14,867	16,928	△ 2,061	
内 自主企画事業費	14,867	16,928	△ 2,061	
内 重点事業	14,867	16,928	△ 2,061	

【根拠とするデータ等】

住民登録世帯数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 事業企画担当 係 高齢・障害
	野坂 高志 永峯 浩子 小栗 由美	飯塚 信太郎 松隈 雄司 栗原 淳子	森岡 良太 清水 咲菜 青木 洋祐

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 地域振興 課]

No.	10
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費	性質・ 課題区分	交通安全 防犯	事業開始年度	平成8年度
------	----------------------------	-------------	------------	--------	-------

事業名	地域で守ろう私の安全安心事業
-----	----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価 書番号	11
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,193					8,193
前年度	7,980					7,980
増△減	213	0	0	0	0	213

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	7,610	7,897	8,059
算 メリット+一般財源	6,559	7,897	8,059
決算 事業費	7,610	6,711	7,793
算 メリット+一般財源	6,559	6,711	7,793

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	8,193	8,193
算 一般財源	8,193	8,193

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<p>1 交通安全対策として、小学生から高齢者に至るまで一貫性のある教育を段階的かつ体系的に行うとともに、交通安全の広報啓発活動を行います。また、放置自転車対策及びスクールゾーン対策を地域の他の団体と協力して実施します。</p> <p>2 犯罪が起きにくい「安全で安心して暮らせるまちづくり」のために、地域の自主的な防犯活動を支援するとともに、区民の防犯に対する意識を高める啓発活動を実施します。</p>
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

1 交通安全

高齢者による交通事故が増加傾向の中、南区の高齢化率は市内でも高く、高齢者を中核とした交通安全教育等の交通事故防止対策を実施することで、交通安全意識の高揚を図る必要があります。また、平成31年4月から施行された神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例において自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化されたため、広く保険加入について周知していきます。

2 防犯

南区の犯罪件数は年々減少傾向にあります。しかしながら、通り魔事件など凶悪な事件が発生しており、発生件数は年間約1,000件と未だ高い数値で推移しています。より地域の方が主体となった防犯パトロール等の活動の充実が必要です。また、振り込め詐欺の被害が課題となっているため、多方面からの情報共有を行い、活動支援を引続き行うとともに地域の方の防犯に対する意識を高める啓発活動を行います。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	---------	-------------

2 運営方針等との関係

3 根拠法令・要綱等

交通安全対策基本法、横浜市自転車等の放置禁止に関する条例、横浜市交通安全運動実施計画、南区スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、南区安全安心まちづくり推進連絡会会則、よこはま安全・安心プラン

【実績の推移・今後見込み】

1 交通安全

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年(6月末)	令和2年(見込み)
交通事故発生件数	545件	486件	513件	550件	517件	209件	418件

2 防犯

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年(6月末)	令和2年(見込み)
犯罪発生件数	1,348件	1,211件	1,330件	1,178件	962件	390件	780件

【実施内容】

1 交通安全対策事業

(1) 交通安全支援事業

- ア 南区交通安全対策協議会を運営し、南区内の関係機関と連携を取り、各種交通安全対策を行います。
- イ 南区交通安全区民総ぐるみ大会：各種交通安全活動に取り組む様々な立場の区民に呼びかけ、交通安全知識の普及と意識の高揚を目指し、式典及び実践教室をあわせて開催します。
その際、交通安全活動に功労があったものを区長が表彰します。(交通安全功労者表彰)
- ウ 各季(4月・7月・9月・11月)街頭キャンペーンを関係機関・団体・町内会等が一体となり実施します。
- エ 強化月間(5月・6月・11月)街頭キャンペーンを関係機関・団体・町内会等が一体となり実施します。

様式3-1

- オ 主にシルバーリーダーを活用し、自転車の正しい乗り方やマナーについて、街頭で啓発キャンペーンを実施します。
 - カ 地域主催のキャンペーン、交通安全教室の開催を支援し、地域における交通安全意識の高揚を図り、地域の力を高めます。
 - キ はまっ子交通安全教室：区内小学校全児童を対象とし、希望のある小学校において教室を開催します。
 - ク 幼稚園児等とその保護者を対象に、交通安全の早期教育及び保護者が幼児の交通安全教育に果たす役割の重要性を改めて認識してもらうために交通安全教室などの場を作ります。また、地域で活動している交通安全等の団体を紹介することで地域の繋がりや醸成を図ります。
- (2) スクールゾーン対策事業
- ア スクールゾーン対策協議会（区内17か所）への助成金を交付し、児童の通学・下校時における安全対策を支援します。
 - イ スクールゾーン等の電柱巻及び標示の新設・更新などの維持管理を実施します。
- (3) 放置自転車対策事業
- ア 自転車等放置防止監視員の配置：区内8駅に業者委託により自転車等の放置防止監視員を配置します。
 - イ 区内8駅自転車等放置防止推進協議会の運営を行います。

2 防犯事業

- (1) 防犯啓発活動
- 警察や防犯協会等と連携し、区民まつりやキャンペーン等での防犯啓発活動を実施します。
また、町内会などの地域団体に対して防犯教室を開催します。特に、振り込め詐欺防止の寸劇やキャンペーンイベントでは、参加者に対し防犯の啓発とともに消費生活推進員の活動を周知し、推進員のやりがいの向上につなげます。
- (2) 地域防犯活動支援
- ア 防犯物品や防犯ステッカー等を地域に配布し、防犯パトロールなど地域の自主的な防犯活動を支援します。
 - イ 買物や散歩といった日常生活の中で防犯グッズを身に付け防犯活動を兼ねてパトロールを実施していただく「まち歩き防犯パトロール」の登録者を広く募集し、地域における防犯パトロールの充実を図ります。
 - ウ 区内の新小学1年生に防犯ブザーの配付や子ども110番の家のマップの作製など、子どもの安全対策活動を支援します。
- エ 防犯パトロールカーを活用した小学校周辺のパトロールや地域の夜間パトロールを年間を通して実施し、地域における犯罪発生や抑止及び児童等の交通事故防止を図ります。
 - オ 自治会町内会加入促進による防犯パトロールの啓発を行い、安全で安心なまちづくりを推進します。
- (3) 防犯情報提供等
- ア 関係団体と活動情報の共有を行い、安全で安心なまちづくりを推進するため、多方面からの啓発イベントを行います。
 - イ 防犯・犯罪情報等をメール配信に登録した人に定期的に配信し、防犯に役立てます。
 - ウ 悪質商法等に関する情報提供を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 交通安全対策事業			0	
(1)交通安全支援事業	自 1,552	自 1,652	△ 100	
(2)スクールゾーン対策事業	自 1,411	自 1,098	313	
(3)放置自転車対策事業	自 1,566	自 1,566	0	
2 防犯事業				
(1)防犯啓発活動	自 350	自 400	△ 50	
(2)地域防犯活動支援	自 3,264	自 3,214	50	
(3)安全安心まちづくり推進連絡会	自 50	自 50	0	
事業費合計	8,193	7,980	213	
内 自主企画事業費	8,193	7,980	213	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

令和元年度各月交通事故発生状況・犯罪統計資料（神奈川県警察）、横浜市内137駅周辺の放置自転車等の実態について（30年11月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	姫浦 尊	中盛 敦司	中島まりな、向坪亮

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名 区民スポーツ支援事業	特記事項		中期計画-38の政策	事業評価書番号	12					
	中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	<table border="1"> <tr> <th>政策番号</th> <th>主な施策番号</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </table>	政策番号	主な施策番号	7	2	<table border="1"> <tr> <td>事業評価書番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業評価書番号</td> <td></td> </tr> </table>	事業評価書番号		事業評価書番号
政策番号	主な施策番号									
7	2									
事業評価書番号										
事業評価書番号										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,720					4,720
前年度	4,578					4,578
増△減	142	0	0	0	0	142

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	3,685	5,855	5,305	算	事業費	4,720	4,720
	メリット+一般財源	3,685	5,855	5,305		一般財源	4,720	4,720
決算	事業費	3,283	5,181	4,987	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	3,283	5,181	4,987	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	各種目別競技団体の大会、教室等を実施している南区体育協会にスポーツ振興等を図るため補助金を交付します。 また、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、区民のスポーツへの関心を高めるための各種事業を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
 身近な場所でスポーツを楽しめる街を実現し、スポーツを通じて地域間交流や区民の健康促進を図るためには、世代を超えて誰もが気軽に参加できる種目・交流の機会を提供していくことが必要です。また、近年、ニュースポーツ(ex. グラウンドゴルフ、ドッジビー、フাজーテニス等)などプレイヤー間の交流を主目的とした負担の少ない種目も増加しており、区民の健康志向の高まりと共に、こうしたスポーツレクリエーションへのニーズが拡大しています。対象者や種目などを総合的に鑑みて、スポーツの場を提供していくことが求められています。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、区民のスポーツへの関心を高め、スポーツを始めるきっかけとなる機会を提供していくことが求められています。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望	6 区民要望		
-------------	-------------	--------	--	--

2 運営方針等との関係
 令和元年度南区運営方針「健やか」「賑わい」

3 根拠法令・要綱等
 スポーツ基本法、横浜市スポーツ推進計画、南区体育協会補助金交付要綱、南区快汗生涯スポーツ事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
体育協会加盟団体数	17団体	17団体	17団体	17団体	17団体	17団体	17団体

【実施内容】

- 1 体育協会支援事業**
 体育協会に補助金を支出し、体育協会が主催するイベント、また年間を通して開催する種目別の大会・教室等により、区民のスポーツの振興を図ります。
 (例) みなっちランニングフェスタ、みなっちスポーツフェスタ、南区スポーツ人の集い
- 2 区民スポーツ参加促進事業**
 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、区民のスポーツに対する関心を高めるための取組を実施し、地域の活性化を図ります。
 (1) **コミュニティライブサイト**
 ア オリンピックを身近に感じることができる競技種目の放映を実施することにより、区民のオリンピックやスポーツに対する関心を高めます。
 イ オリンピックスポーツなどの体験イベントを開催し、更なる機運醸成を図ります。
 (2) **「あつまれ!みなっちげんきっず」**
 幼少期からスポーツに親しめる環境づくり、健康づくりを目指すため、区内の保育園・幼稚園児が参加するイベントを開催します。また、実施後に「あつまれ!みなっちげんきっず写真展」を区役所内で実施します。
- 3 区民体力づくり事業(南の丘トレイルウォーキング大会)**
 南区スポーツ推進委員連絡協議会に補助金を交付し、山坂の多い南区の地形と豊かな自然環境を生かしたアップダウンを含む約10kmの長距離・健脚者向けトレイルコースを設定し、より運動強度の強い、区民の体力づくりを目的とした事業として実施します。
 ・時期：11月 ・参加人数：300人

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 体育協会支援事業	自 300	自 300	0	
2 区民スポーツ参加促進事業			0	
(1) コミュニティライブサイト	自 2,450	自 2,450	0	
(2) 「あつまれ！みなっちげんきっず」	自 1,700	自 1,558	142	実施内容見直しに伴う増
3 区民体力づくり事業	自 270	自 270	0	
			0	
事業費合計	4,720	4,578	142	
内訳				
自主企画事業費	4,720	4,578	142	
重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動推進・子ども家庭係 森田 秀・前田 惇超 矢嵐 千恵
	姫浦 尊 小田川 紀可	田邊 吉広 杉崎 由樹	

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 地域振興 課]

No.	12
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名
区民文化活動支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,683					1,683
前年度	1,683					1,683
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	1,850	1,550	1,550
メリット+一般財源	1,850	1,550	1,550
決算 事業費	2,286	1,632	1,532
メリット+一般財源	2,286	1,632	1,532

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	1,683	1,683
一般財源	1,683	1,683
方針に関する決裁 種別()	有:件名()、日付(年月)	
	無	

事業の概要(目的)	区民が主体となる実行委員会に補助金を交付し、南区文化祭を実施します。また、区民が行う文化活動を幅広く支援するため、南区文化賑わい支援補助金を交付します。令和元年度に横浜市民読書活動推進計画が策定されたことにあたり、区として読書活動を推進する事業を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 区民の文化活動の発表の場を提供することで、生きがいを支援するとともに、これまで交流のなかった区民間に交流を生み出すことで、地域活動のきっかけ作りともなるような場の支援を必要とします。 区民が行う文化振興または賑わいを創出する活動を支援することにより、活動力の向上や、地域コミュニティの形成を促していくことが重要です。 区内の各施設の図書施設を広報することと、幅広い世代が本に触れる機会を提供することが必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針「賑わい」 ・文化・賑わい創出支援
3 根拠法令・要綱等	南区文化祭支援事業補助金交付要綱、南区文化祭実行委員会規約 南区文化賑わい支援補助金交付要綱 横浜市民の読書活動の推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

1 南区文化祭

27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度見込み	2年度見込み
5,800人	6,000人	5,100人	4,900人	5,500人	5,500人

2 南区文化賑わい支援事業

29年度	30年度	令和元年度	2年度見込み
5件	4件	3件	6件

3 南区読書活動推進事業

読書活動推進のための研修会・講演会の実施回数と人数

令和元年度見込み	2年度見込み
2回・120人	2回・120人

【実施内容】

1 南区文化祭支援事業

文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付することにより支援を行います。また、当事業実施により、参加した団体同士で交流が行われることで、地域のつながりも図られます。

(1) 内容

①区民創作作品展、②区民ステージ、③フラ★フェスタ、④みんなの合唱祭の4部門で、日ごろの成果を発表し、交流する場として、南区文化祭を実施します。

(2) 対象者

主に区内で文化活動を行っている団体

2 南区文化賑わい支援事業

区民の文化活動の活性化または賑わいの創出のため、活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業について、補助金を交付することにより支援を行います。

3 南区読書活動推進事業

地域のボランティアなどからの情報収集を行い、各団体とのネットワークづくりを進めます。ここでは、読み聞かせ団体と子育て支援団体との連携を促し、双方向の活動としてそれぞれのやりがいにつなげます。また、読書推進月間を中心に、読書活動を推進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
南区文化祭支援事業	自 1,050	自 1,050	0	
南区文化賑わい支援事業	自 500	自 500	0	
南区読書活動推進事業	自 133	自 133	0	
事業費合計	1,683	1,683	0	
内 自主企画事業費	1,683	1,683	0	
内 訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

南区文化祭来場者数、南区文化賑わい支援補助金交付団体数、横浜市民読書活動推進計画

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動推進係
	姫浦 尊	三木 淳	福岡 美夢 山口 友美

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 ^{地域振興} _{こども家庭支援} 課]

No.	13
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・ 課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	-------------	---------	--------	-------

事業名	青少年育成事業
-----	---------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書 番号	14
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,311					1,311
前年度	1,210					1,210
増△減	101	0	0	0	0	101

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	4,353	3,556	1,660
メリット+一般財源	4,353	3,556	1,660
決算	4,326	3,545	1,659
メリット+一般財源	4,326	3,545	1,659

歳出	令和3年度	令和4年度
事業費	1,311	1,311
一般財源	1,311	1,311

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員が行う異年齢児間交流のための「ふれあいキャンプ事業」や青少年参画を図りながら実施する作文募集・表彰・朗読発表の「ボイス・オブ・ユース事業」を実施します。 ・南区区民少年野球大会実行委員会へ、補助金を交付します。 ・区内学校の児童・生徒と地域住民との交流活動を促進します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・近年、青少年を取り巻く環境がめまぐるしく変化し、社会や地域との関係性が希薄化するなか、青少年の健全育成を図るため、関係団体と連携しながら推進していく必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「こども」
3 根拠法令・要綱等	社会教育法、かがやけ横浜こども青少年プラン、南区青少年活動補助金交付要綱、南区区民少年野球大会実行委員会規約

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
区・地区活動参加者数	延49,342人	延39,752人	延39,706人	延32,319人	延39,000人	延39,000人
キャンプ参加者	147人	106人	133人	120人	104人	130人
ボイス作品応募数	3,000編	3,266編	2,866編	2,634編	2,586編	2,800編
少年野球参加チーム	少年の部	24チーム	23チーム	23チーム	21チーム	21チーム
	中学の部	8チーム	7チーム	8チーム	8チーム	8チーム
学校と地域の交流応援事業実施校数	—	—	—	1校	4校	14校

【実施内容】

- 青少年活動補助金

青少年の健全育成を目的として次の事業に補助金を交付します。

 - ふれあいキャンプ事業

内容：自然の中での集団生活(テント生活)の体験及び異年齢児や地域の青少年指導員との交流を図り、事業を通して青少年の健全育成を図ります。

時期：令和2年8月の3日間(金・土・日)を予定

対象：区内青少年(小学校3年生～中学生)
 - ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)事業

地域活動、私の夢などに加え、オリンピック・パラリンピックに関するテーマを設け、青少年が日頃から考えていること、感じていることだけでなく、間近で体感するオリンピック・パラリンピックに関しての作文を募集し、入選作文の表彰・代表者の朗読発表及び作文集を発行します。発行した作文集を自治会・町内会長へ配布し、地域の活動に参加した次世代を担う青少年の声を伝えることで、地域とのつながりを深めます。

また、発表会当日の運営について区内の小・中学生を参画させ、事業を通して青少年の居場所づくり及び青少年の健全育成を促進します。

時期：令和2年11月下旬

対象：区内在住・在学の青少年(小学校3年生～20歳)

(3) 南区区民少年野球大会

昭和37年から継続している南区区民少年野球大会を通じて、少年の体力づくり及び心身の健やかな成長、チームプレーにおける自立と連帯への学びを得ることを目的として、南区区民少年野球大会実行委員会への補助金を支出します。

2 学校と地域の交流応援事業

区内学校の児童・生徒と地域住民との交流活動を促進します。

- (1) 地域との調整等により、区内学校の児童・生徒と地域住民との交流活動を支援します。
- (2) 学校・地域コーディネーターの活動促進のため、連絡会を開始するとともに、南区を知る研修を行うほか、希望に応じて、アドバイザーを派遣します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 青少年活動補助金				
ふれあいキャンプ	自 250	自 250	0	
ボイス・オブ・ユース	自 510	自 510	0	
区民少年野球大会	自 50	自 50	0	
2 学校と地域の交流応援事業	自 501	自 400	101	事業転換に伴う増
			0	
事業費合計	1,311	1,210	101	
内 自主企画事業費	1,311	1,210	101	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

市立学校現況、南区青少年活動補助金交付要綱（第3条）、学校・地域コーディネーター配置校数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動推進・学校連携 係
	姫浦 尊 小田川 紀可	三木 淳 澤田 るい	兵頭 直弥 平井 純子

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 こども家庭支援 課]

No.	14
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	-------	--------	-------

事業名
すこやか子育て支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	2、3、4
24	2
31	3

事業評価書番号	15
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,976					4,976
前年度	6,481					6,481
増△減	△ 1,505	0	0	0	0	△ 1,505

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	8,688	6,988	6,560
メリット+一般財源	8,688	6,988	6,560
決算 事業費	6,767	6,718	6,387
メリット+一般財源	6,767	6,718	6,387

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	6,500	6,500
一般財源	6,500	6,500

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	①核家族化が進んでいる中で、周囲に育児の悩みや不安を相談する相手が少なく、孤立しがちな養育者が増えています。そのため養育者が安心して子育てできるように、身近に子育て仲間がいる環境や、養育者の相談に的確に応じられる環境を整える必要があります。また、こどもの成長に必要な「多様な体験・人との交流」の機会が減少しています。 ②南区は児童虐待の要保護児童数が市内でも上位にあり虐待防止への施策が急務です。こどもを見守り、関係機関が連携した支援体制を構築する必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「こども」
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、DV防止法、養育ネットワーク事業実施要領、障害者自立支援法、保育所保育指針、みなみサマーフレンド事業補助金交付要領

【実績の推移・今後見込み】

参加人数	H29実績	H30実績	R1見込
赤ちゃん学級	3,431	3,224	3,000
土曜両親教室	155	193	200
保育園応援隊事業	174	180	180

(単位：人)
(単位：人)
(単位：回)

【実施内容】

- 赤ちゃん学級**
養育者の育児不安の解消と仲間づくりを目的に、赤ちゃん学級を年10回、区内11会場で開催します。
- 土曜両親教室**
平日の母親教室に参加できない妊婦およびパートナーのために、年4回土曜両親教室を開催します。
- 児童虐待予防事業**
 - 養育サポート事業**
児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援をします。
 - 子どもの居場所づくりネットワーク**
アドバイザーの助言のもと、居場所づくりのネットワーク連絡会を通して、子どもの居場所の活動を支援します。また、子どもの居場所マップの増刷、活動団体のポスターを作成し、地域に広く周知します。
 - 支援者スキルアップ研修**
地域で子どもや養育者を見守り、児童虐待を未然に防ぐために、子育て支援に取り組む支援者を対象に児童虐待予防研修を実施します。
- 障害児地域交流活動推進事業**
障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児夏休み支援運営委員会」に補助金を交付します。

5 子育て情報提供事業

- ・子育てに関する相談窓口を紹介する「子ども・家庭支援相談リーフレット」を作成し、赤ちゃん訪問時や区内の幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校及び関係機関などに配布します。
- ・地域の子育て情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成し、赤ちゃん訪問時、また、区外から転入してきた家庭及び関係機関などに配布します。また、妊娠期からの情報提供の充実を図るため、母子手帳交付時にも配布します。

6 保育園応援隊

地域のボランティアの方々に保育園を訪問していただき、多世代間交流をすることで、児童の健全な育成を図ると共に地域との連携を深めます。また、保育園児が地域の高齢者サロンなどを訪問し、ふれあい活動を通じて、地域の高齢者を支援します。

7 みなっち杯えきでん交流事業

区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会を開催します。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 赤ちゃん学級	重 483	重 641	△ 158	従事者体制見直しによる減
2 土曜両親教室	重 146	重 146	0	
3 児童虐待予防事業	重 2,111	重 2,058	53	居場所配布物増による増
4 障害児地域交流活動推進事業	重 350	重 350	0	
5 子育て情報提供事業	重 950	重 2,300	△ 1,350	DVD完成による減
6 保育園応援隊	重 236	重 286	△ 50	実施園数減による減
7 みなっち杯えきでん交流事業	重 700	重 700	0	
事業費合計	4,976	6,481	△ 1,505	
内 自主企画事業費	4,976	6,481	△ 1,505	
訳 重点事業	4,976	6,481	△ 1,505	

【根拠とするデータ等】

(赤ちゃん学級、土曜両親教室、ママカウンセリング、サマーフレンド、応援隊、乳幼児健診、えきでん参加) 実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭 係
	戸矢崎 悦子	杉崎 由樹	涌井 修二

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 福祉保健
保険年金 課]
高齢・障害支援

No.	15
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	健康づくり 高齢者 障害児・者	事業開始年度	平成13年度
------	-------------------------------------	-------------	-----------------------	--------	--------

事業名
健やか元気応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1, 2, 3
31	3
32	4

事業評価書 番号	16
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,535					5,535
前年度	4,966					4,966
増△減	569	0	0	0	0	569

歳出	28年度	29年度	平成30年度
予算 事業費	5,168	4,861	4,514
メリット+一般財源	5,168	4,861	4,514
決算 事業費	4,865	4,299	4,283
メリット+一般財源	4,865	4,299	4,283

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	5,086	5,086
一般財源	5,086	5,086

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<p>1 働き・子育て世代である成人期を中心として、ライフステージに合わせた生活習慣病の発症予防や重症化予防の啓発、食育の推進などにより日頃からの心身の健康づくりを支援します。</p> <p>また、いつまでも、健康で元気な生活ができる区民を増やしていくために、いつでも誰でも取り組みやすいウォーキング等運動の普及啓発を目的とした事業を実施します。</p> <p>2 特定健診の受診率向上を図ることで、市民の健康寿命延伸に貢献します。</p> <p>3 「自殺対策基本法」「自殺総合対策大綱」「横浜市自殺対策計画」に基づき、自殺対策への普及啓発や、局、関係機関及び区役所各課と連携を取りながら、南区職員全員が『ゲートキーパー』を目標に、自殺対策への取り組みを行います。</p> <p>4 障害者及び関係者のネットワークを活用し、障害者の地域生活の充実のための支援を行います。また区民に対し、障害者に関する意識啓発を図り、障害者が安心して暮らせる地域づくりを進めます。</p> <p>5 健康福祉まつりの開催を通して、健康増進に向けた普及啓発を行います。</p>
---------------	---

(説明)			
1 地域の課題等			
<p>1 健康づくり推進事業 平均自立期間が南区は男性が市内17位、女性は市内最下位となっています。朝食の欠食率が、横浜市と比べても男女共に有意に高い状況です。また、喫煙習慣のある人の割合は市内で1番高い状況です。健康寿命延伸に向けて、これらのことから若い時期から健診受診を勧めるなど、生活習慣病予防に取り組むことが重要です。また、働き・子育て世代から生活習慣病予防の対策の重点として運動習慣の定着化に取り組む必要があります。誰でも手軽にできるウォーキングは、運動習慣の定着化を広める手法として有効です。</p> <p>2 本市国民健康保険特定健診実施計画が見直され、目標が40.5%へ修正されたが、南区の平成29年度実績は19.4%にとどまっており、市民の健康寿命延伸とともに本市国保財政の更なる健全化を図るうえでも、受診率向上に取り組むことが必要です。</p> <p>3 自殺対策事業 南区は18区の中で10万人あたりの自殺死亡率(平成29年：南区16.9、横浜市13.3)が高く、自殺対策は継続して取り組まなければならない課題です。 区民に積極的に普及啓発するとともに、関係機関及び区役所各課と連携しながら自殺対策に取り組み、南区職員全員が『ゲートキーパー』を目標に取り組む必要があります。</p> <p>4 障害者には、福祉的課題への対応が優先され、健康診断受診や生活習慣病予防、口腔衛生等の健康課題への取り組みが進んでいない状況があります。そのため、障害者・関係者のネットワークを活用し、交流の促進や、運動・健康管理についての習慣の定着をはかる支援を行う必要があります。 また、障害者理解の促進を継続して実施し、地域と障害者のつながりをさらに促進することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進める必要があります。</p> <p>5 健康福祉まつりの開催を通して、健康増進に向けた普及啓発を行う必要があります。</p>			

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望	8 その他
-------------	------------	-----------	-------------	-------

2 運営方針等との関係	<p>令和元年度南区運営方針 「健やか」「賑わい」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の発症予防・重症化予防の支援、特定健診受診率向上 健康ウォーキングの推進 障害者のサポート 南区4大まつり：いきいきふれあい南なんデー
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	1 健康増進法、新健康フロンティア戦略、健康日本21、健康横浜21、食育基本法、感染症法 2 横浜市国民健康保険特定健康診査等実施要綱 3 横浜市自殺対策計画、自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、横浜市自殺対策庁内指針 4 横浜市障害者相談支援事業要綱 5 南区健康づくり月間事業いきいきふれあい南なんデーの実施及び同事業補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

1 健康づくり推進事業

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
食育推進会議・食育イベント	60	621	1,023	881	841	808	800	800
健康ウォーキング講習会	628	699	775	657	429	494	500	500
よこはまウォーキングポイント登録者総数	5,542	8,763	11,662	14,876	16,487	18,000	20,000	

2 特定健診受診率向上事業

	25年度実績					30年度		
	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	対象者	受診者数	受診率
南区	18.4	18.9	19.3	18.6	19.4	30,656	6,712	21.9
全市	20.4	21.5	21.9	21.0	21.9	495,126	120,364	24.3

3 自殺対策事業

・南区職員のゲートキーパー数について(単位:人)

	令和元年度見込	令和2年度見込	令和3年度見込	令和4年度見込	令和5年度見込	合計
ゲートキーパー研修	64	80	80	80	80	384
ゲートキーパープラス	45	45	45	45	45	225
合計	109	125	125	125	125	609

・※ゲートキーパープラス:専門職向け研修

【平成30年度】

- ・自殺対策強化月間啓発キャンペーン(9月、3月)【南図書館・南区役所】
- ・いきいきふれあい南なんデーでの展示(10月)
- ・区民向け講座(11月:98人)
- ・民生委員向け講座(1月:233人)
- ・南区職員自殺対策基礎研修(5月:81人)

4 障害者サポート事業

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
障害者けんこう講座	1,026	710	658	857	800	800
健康管理普及啓発講座	0	0	0	14	40	40
地域福祉推進事業(講演会)	232	392	178	223	300	300

5 いきいきふれあい南なんデー

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度見込み	令和2年度見込み
来場者数	15,000	12,000	14,000	11,000	10,000	10,000

【実施内容】

1 健康づくり推進事業

(1) 食育推進事業

「食育基本法」「第3次食育推進基本計画(平成28年~32年)」「第2期横浜市食育推進計画」に基づき、南区の食育を推進します。

ア 食育推進連絡会

食育関係者が食生活の現状や課題を積極的な情報交換により共有すること、また、食育関係者の資質の向上を図ることで、施設や地域での食育活動を推進します。

- ・実施回数 1回(1月)

イ 食育普及啓発

食育や健康的な食生活についての関心を高めるため広く区民に普及啓発を行います。実施に当たっては南図書館や地域子育て支援拠点などと連携し、展示や講話、イベント活用を行い効果的な取組となるよう工夫します。また、給食施設やヘルスマイトと協働し、リーフレットや広報を利用した食育啓発を実施します。

- ・実施回数 4回(6月、10月)
- ・ヘルスマイトレシピ集(2000部)
- ・ヘルスマイトだより(7500部)

(2) 健康みらい事業

健康寿命を延ばす(健康な未来を広める)ため、健康診断を受診し、健診結果を振り返る習慣が区民に定着するようにキャンペーン事業を、保健活動推進員と協力して実施します。また、疾病の重症化予防のための講演会や啓発事業を実施します。

ア 健診サポート事業(特定健診受診・生活習慣改善キャンペーン)

健診結果から生活習慣改善指導につなげる分析ソフト(健康サポート応援団)をリースし、生活習慣改善相談に活用します。また、解説パンフレットを広く配布し、健診結果を見直す風土を広めます。(通年)

イ 生活習慣改善講座(旧「糖尿病講座」)

生活習慣病についての理解を深めることで、生活習慣の改善を促し、生活習慣病の発症や悪化を予防するための講座を開催します。

- ・実施回数:生活習慣改善講座1回(9月)
- ・対象者:一般区民

ウ 健診のミカタ出張講座

保健活動推進員と共同して地域の会場で地域団体や企業等へ出張し、健診受診後に健診結果を振り返り、生活習慣改善につながるミニ講座を行います。(通年)

- ・実施回数:6回

対象者:地域住民、一般団体、企業等

(3) 健康情報啓発

健康づくりのための情報発信や啓発をギャラリー等で年間を通じて行います。また、国内外から多くの人が横浜市を訪れ、感染症が拡大するリスクが高まることから、オリンピック・パラリンピック開催期間前後に、感染症対策の啓発を強化します。特に以下の月間キャンペーンを行います。

- ・がん啓発、禁煙、熱中症対策、結核、AIDSなど感染症、食育(年間6回)

(4)健康ウォーキング推進事業

働き世代を対象に、運動習慣を身につけることができるようウォーキング講習会を実施します。また、保健活動推進員が主催する地区ウォーキング事業の啓発を支援します。

- ・ 実施回数 : 区民向け講習会1回、保活主催地区ウォーキング事業(通年)

2 特定健診受診率向上事業

- (1)受診勧奨事業 特定健診受診対象者に電話により受診勧奨を行います。
- (2)受診啓発事業 自治会の掲示板や回覧などにより特定健診の受診勧奨チラシの掲示や回覧するなどのほか、医師会や薬剤師会など医療機関と連携した受診啓発の取り組みや、青色申告会や事業会、商店街を通じた受診勧奨のチラシの配布など、様々な機関と連携して、受診啓発の取り組みを行います。

3 自殺対策事業

(1)普及啓発事業

- ・ 自殺対策強化月間(9、3月)に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを行います。

(2)人材育成講座

【区民向け研修、支援者向け研修】

- ・ 区民や、地域の支援者が悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つなぎ」ができるように、「区民向け研修を」実施するとともに、関係団体や支援者向けに「支援者向け(つなぎ手)研修」を実施します。
- ・ 支援者向け(つなぎ手)研修では、「つなぎ手」であることを意識を醸成し、ゲートキーパーになる研修として実施します。

【職員向け研修】

- ・ 南区職員全員が『ゲートキーパー』を目標とするため、ゲートキーパー研修を実施し、新たに「南区ゲートキーパーカード」を配付し、職員の意識向上につなげます。
- ・ 専門職向けに、「自殺をほのめかす人への対応研修(ゲートキーパープラス)」を実施し、ゲートキーパー育成を可視化します。

(3)推進体制

- ・ 区役所全体で自殺対策事業に取り組むため、福祉保健センター専門職を中心とした、「スタッフプロジェクト」を実施し、区職員の連携強化を図ります。

4 障害者サポート事業

(1)障害者への健康管理支援事業

ア 障害者けんこう講座

生活習慣病や歯周病の予防、肥満予防、運動実技指導を目的に、南スポーツセンター等にて年11回講座を開催します。対象は作業所等を利用している障害者及び支援者です。

イ 健康管理普及啓発講座

生活習慣病予防・口腔衛生(オーラルフレイル)に対する啓発を目的に年2回、出張講座形式で実施します。対象は障害者とその家族及び支援者です。

(2)障害者の地域福祉推進事業

基幹相談支援センターや精神障害者生活支援センター、南区作業所連絡会、南区障がい児者団体連絡会等と連携し、障害者けんこう講座における地域住民との交流機会の提供や、作業所製品の販売促進支援等を行います。障害者・関係者と地域住民がつながる「きっかけづくり」として、障害者施設・作業所の場所、活動内容がわかりやすいリーフレット(H30作成)の改訂増刷を行い、配布、周知します。【地域】

5 いきいきふれあい南なんデー

- ・ 補助対象団体 いきいきふれあい南なんデー実行委員会
- ・ 内容 健康啓発、保健啓発、生活衛生相談、障害者福祉やボランティア等の啓発
- ・ 開催時期 10月第1週の日曜日
- ・ 会場 大岡健康プラザ

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
1 働き・子育て世代の健康づくり推進事業	重 1,536	重 1,687	△ 151	イベント、保活下見研修終了等による減	
2 特定健診受診率向上事業	重 279	重 228	51		
3 自殺対策事業	重 650	重 671	△ 21	経費節減による減	
4 障害者サポート事業	重 650	重 630	20	口腔衛生指導衛生材料の増	
5 いきいきふれあい南なんデー	重 2,420	重 1,750	670	実行委員会補助金の増	
事業費合計	5,535	4,966	569		
内訳	自主企画事業費	5,535	4,966	569	
	重点事業	5,535	4,966	569	

【根拠とするデータ等】

横浜市人口動態統計(29年)、警察庁「自殺統計」、いきいきふれあい南なんデー事業実施報告(30年度)、横浜市国民健康保険加入者の特定健診データ区別分析結果(27年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係 富士慶一、山崎秀信
	永峯 浩子 新堀 邦彦 小栗 由美	岩澤 玲子、亀井 明子 鈴木 政憲 末吉 広典	

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名 地域福祉保健計画等推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 14 1 10 3	事業評価書番号	2
	中期計画-行政運営				事業評価書番号	
	中期計画-財政運営					
	重点事業					
	新規・拡充		○			
	温暖化対策関連事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,530					6,530
前年度	4,890					4,890
増△減	1,640	0	0	0	0	1,640

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
事業費	910	1,090	2,170	事業費	2,180	2,180
メリット+一般財源	910	1,090	2,170	一般財源	2,180	2,180
決算	807	931	2,062	方針に関する決裁 種別()		
決算	807	931	2,062	有:件名()、日付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	・地域福祉保健課題の解決を図るため、関係団体への情報共有、連携・強化の検討を行います。また、第3期南区地域福祉保健計画を推進するため、計画推進状況概要版の発行やイベントでの計画啓発を行い、区民と協働により計画を推進するとともに、第4期計画の策定に向け、関係会議や区民意見募集等を実施します。
-----------	---

(説明)							
1 地域の課題等							
・地域福祉保健計画を知ることによって、地域の目指すものがわかり、担い手等の協力体制ができますが、地域福祉保健計画が十分に知られていないことにより、自分の住む地域の福祉課題がわかりづらく、一部の担い手に役割が集中しがちな状況があります。また、第4期計画を策定するにあたり、多様な主体の連携・協働による地域づくりが求められています。							
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート					
2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「地域の力」 ・地域福祉保健計画の着実な推進						
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法（第107条）、南区地域福祉保健計画、横浜市地域福祉保健計画						
【実績の推移・今後見込み】							
1 みなみの福祉保健を考える懇談会運営事業 年1回3月頃開催							
2 地域福祉保健計画推進事業							
	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
地区別計画振り返り会議開催(数)	32	32	32	32	32	32	32
【実施内容】							
1 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業 第3期南区地域福祉保健計画推進に係る各地域、団体、関係機関の情報収集及び関係部署との情報共有化を図るとともに、地域の福祉保健課題の解決を図るため、計画の推進体制の充実に向け、関係団体の連携・強化について検討を行います。また、第4期計画原案について、助言をいただきます。							
2 南区地域福祉保健計画推進事業 第3期南区地域福祉保健計画の推進について、南なんデー、地域メディア等によって広く区民に広報啓発を行い福祉保健計画の周知を図るとともに、活動団体等の意欲向上につなげます。また、関係会議や区民意見募集等を実施することに併せ、南区地域福祉保健計画の愛称を検討するなど、区民に親しみやすい第4期計画を策定します。							
【事業費の内訳】							
	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明		
	1 みなみの福祉保健を考える懇談会	自 50	自 50	0			
	2 南区地域福祉保健計画推進事業	自 6,480	自 4,840	1,640	第4期計画策定調査等委託等による増		
	事業費合計	6,530	4,890	1,640			
内	自主企画事業費	6,530	4,890	1,640			
訳	重点事業	0	0	0			
【根拠とするデータ等】 南なんデー来場者実績（29年度）							

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当 係
	永峯 浩子	松隈 雄司	清水 咲菜

事業名		地域福祉保健計画等推進事業											
年間スケジュール													
区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業													会議
南区地域福祉保健計画推進事業	第3期	計画事務局会議 (12回)	全体計画振り返り/地区別計画振り返り会議	地域支援チーム連絡会	職員研修		地域支援チーム連絡会	全体計画振り返り/地区別計画振り返り会議			連携推進会議	地域支援チーム連絡会	
	広報							南なんデー/広報よこはま掲載				推進状況概要印刷	地域情報紙掲載
	第4期	策定打合せ (通年)		区全体計画策定 (推進・評価) 会議/ふれあい懇談会等の開催					区民意見募集				計画策定
統合事業の内訳													
統合事業名		実施区分	事業費の内訳欄の細目事業名				細目統合事業費 (千円)	内容等					
地域ケアサービス推進事業		B	「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業				50	「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営経費					
地域福祉保健計画策定・推進委員会		A	南区地域福祉保健計画推進事業				6,480	地域福祉保健計画策定・推進事業及び職場内研修に係る事務費、事業費					
関連する局事業及び関係局課 (機関) との調整状況													
細目事業名	調整した局・課係名	局の類似事業の有無			調整した内容			局の考え方					
区提案反映制度における提案状況													
調書番号	No.	項目											

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 高齢・障害支援 福祉保健 課]

No.	17
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	高齢者 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成13年度
------	------------------------	-------------	--------------------	--------	--------

事業名
いきいきシニア健康応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1
17	1、2
17	4

事業評価 書番号	17
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,220					3,220
前年度	3,320					3,320
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費	2,920	3,124	4,139
メリット+一般財源	2,920	3,124	4,139
決算 事業費	2,492	2,866	3,530
メリット+一般財源	2,492	2,866	3,530

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	3,220	3,220
一般財源	3,220	3,220
方針に関する決裁種別()	有:件名()、日付(年 月)	
	無()	

事業の概要 (目的)	<p>1 地域包括ケアシステム推進事業 地域包括ケアシステムの構築に向けた南区行動指針を推進するため、地域包括ケアシステムについて周知し、地域ケア会議を実施します。</p> <p>2 お元気21高齢者推進事業 高齢者が自ら介護予防を実践しながら普及啓発活動を行うボランティアを育成し、地域における介護予防健診等の事業を協働で実施します。また、ボランティアとともに継続的に介護予防に取り組む場づくりの支援や、ロコモティブシンドローム予防・認知症予防等介護予防の必要性及び実践の普及を推進していきます。</p> <p>3 地域ささえあい活動推進事業 地域における支えあい活動を推進するため、高齢者等の交流活動や定期的な活動等を支援します。</p>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 地域包括ケアシステム推進事業 2025年には南区の高齢化率が30%を超えることが予測されており、地域包括ケアシステムの構築を早急に進める必要があります。</p> <p>2 お元気21高齢者推進事業 南区民の平均自立期間は、男性は77.84年(市内17位)女性は81.41年(市内18位)であり、市平均より2.09年短い現状にあります。また、要介護・要支援認定高齢者は区内高齢者人口の約2割となっており、介護が必要となった原因の3分の2がロコモティブシンドローム、脳血管疾患、認知症と言われています。</p> <p>そこで、元気なうちから高齢者自身が介護予防の普及啓発を行うボランティア活動を行う機会をつくり、社会参加の充実や介護予防(ロコモティブシンドローム予防・認知症予防等)の実践に取り組む人を増やすため、高齢者が気軽に参加しやすい身近な地域で、継続して介護予防に取り組むことができる仕組みづくりが必要です。</p> <p>3 地域ささえあい活動推進事業 高齢者等を対象とした地域における交流活動への参加、民生委員・児童委員による高齢者等定期訪問事業の利用を促進していく必要があります。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「健やか」 ・地域包括ケアシステムの構築に向けた南区行動指針の推進 ・地域における介護予防の取組
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	1 介護保険法、よこはま地域包括ケア計画(第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画) 2 介護保険法、地域支援事業実施要綱、健康日本21、第2期健康横浜21、よこはま健康アクション推進事業、よこはま地域包括ケア計画(第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)、第3期南区地域福祉保健計画 3 南いきいき長生き推進事業補助金交付要綱、南区高齢者等定期訪問事業実施要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 地域包括ケアシステム推進事業
(1) 地域包括ケアシステムの推進
平成30年度に策定した「地域包括ケアシステムの構築に向けた南区行動指針」に沿って地域包括ケアシステムの推進を進めます。
(2) 地域ケア会議

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
開催回数(回)	29	25	30	25	25

2 お元気21高齢者推進事業

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見込み	令和2年度見込み
かいご予防サポーター数	98	118	128	120	120
推進サポーター数	33				
健診受診者数(開催会場数)	518(24)	426(24)	451(26)	450(25)	450(25)
かいご予防サポーター活動延数	297	282	303	300	300

※会場数には各包括実施分を含む。

【実施内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業

(1) 地域包括ケアシステム啓発事業

地域包括ケアシステムの構築に向け、広く周知します。

(2) 地域ケア会議

区レベル地域ケア会議を行います。

(3) 地域ケア会議サポート事業

各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議の開催支援を行います。要望に応じて、講師の派遣等を行います。

2 お元気21高齢者推進事業

(1) かいご予防サポーター等の養成・支援

介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かいご予防サポーター」の育成と活動支援を行います。

・かいご予防サポーター養成講座（4回/コース）：東京都健康長寿医療センターの研究した、おたっしや健診（介護予防健診）の活用に向けた基本部分と最新の介護予防の実際を学び、介護予防の必要性と具体的な取組を参加者自身で実践しながら、地域で介護予防の普及啓発や介護予防健診の運営等を行うボランティア「かいご予防サポーター」を養成します。

(2) かいご予防サポーターによる介護予防普及啓発

ア 介護予防健診(お元気で21健診)

かいご予防サポーターと地域包括支援センターと共に、高齢者が歩いて出かけられる身近な地域での介護予防健診（お元気で21健診）と介護予防の取組に関する普及啓発を行います。また、地域包括支援センターの介護予防事業との連携や高齢者の集う場への出張健診を実施し、より多くの高齢者が早期に介護予防に取り組むことができるきっかけづくりをしています（8会場）。

イ かいご予防サポーターによる、お元気21出前講座

地域の高齢者が集まる場所（老人クラブ・友愛活動・地域のグループ等）や地域ケアプラザの把握するグループ等にかいご予防サポーター自らが出向いて体力測定等、認知症予防や介護予防に関する出前講座を実施し、より多くの高齢者に対して気軽に元気なうちから介護予防に取り組むきっかけづくりを行います。

ウ 出前講座媒体作成・配布資料・ポスター等の作成

かいご予防サポーターが講座で普及啓発として活用する媒体（フレイル予防等）の検討・作成・配布を行います。

(3) かいご予防サポーターと地域の人材の連携推進

かいご予防サポーターが、自治会町内会等で行う活動（食事会、お祭り等）に関われるよう働きかけ、活動の活性化につなげていきます。また、ボランティアや委嘱委員（スポーツ推進委員、環境事業推進員、民生委員児童委員、保健活動推進員）等地域の活動者へかいご予防サポーターの活動内容や養成講座について周知し、関心のある人や退任した人が継続的に地域活動に関わるきっかけづくりを行います。

3 地域ささえあい活動推進事業

・南いきいき長生き推進事業

地区社会福祉協議会が行う高齢者の交流事業へ補助金を交付します。

・高齢者等定期訪問事業

高齢者定期訪問事業連絡会が行う、ひとり暮らし高齢者等の定期訪問及び連絡会運営・研修等を支援します。また、ひとり暮らし高齢者等の定期訪問時に活用する連絡ノート等を作成します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域包括ケアシステム推進事業			0	
(1) 地域包括ケアシステム啓発事業	自 200	重 200	0	
(2) 地域ケア会議	自 100	重 100	0	
(3) 地域ケア会議サポート事業	自 230	重 230	0	
2 お元気で21高齢者推進事業			0	
(1) かいご予防 サポーター養成・支援	自 419	自 419	0	
(2) 介護予防普及啓発	自 570	自 670	△ 100	在庫活用による減
(3) かいご予防サポーターと地域の人材の連携推進	自 70	自 70	0	
3 地域ささえあい活動推進事業			0	
(1) 南いきいき長生き推進事業	自 560	自 560	0	
(2) 高齢者等定期訪問事業	自 1,071	自 1,071	0	
事業費合計	3,220	3,320	△ 100	
内 自主企画事業費	3,220	3,320	△ 100	
訳 重点事業	0	530	△ 530	

【根拠とするデータ等】

・行政区別世帯数及び人口、南区高齢者等定期訪問事業実績報告書（30年度）、JAGES2016調査（厚生労働科学研究「健康とくらしの調査」）、お元気で21健診受診者データ（30年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長
小栗 由美
永峯 浩子

係長
難波 紘平
大澤 規美子
岩澤 玲子

高齢者支援担当・運営企画 係
塩谷 渚
小原 義孝

[南 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	認知症早期対応・見守り支援事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	4
17	2

事業評価書番号	18
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,286					1,286
前年度	1,566					1,566
増△減	△ 280	0	0	0	0	△ 280

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	1,876	1,745	1,850
メリット+一般財源	1,876	1,745	1,850
決算	1,010	1,155	1,119
決算	1,010	1,155	1,119

歳出	令和3年度	令和4年度
事業費		
一般財源		
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
無		

事業の概要(目的)	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり、認知症の早期診断・早期対応の観点から、認知症サポート医などと連携した認知症に関する啓発などの実施、行方不明となった高齢者の早期発見・保護に向けた日頃の見守り活動の充実をはかります。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	75歳以上高齢者数が市平均12.4%に対し、南区は13.7%（平成31年3月31日現在）と高い状況です。また、高齢者の約4人に1人が認知症又はその予備軍と言われる中、高齢化の進展に伴い認知症の方は更に増加が見込まれており、認知症の当事者及びその家族への支援のほか認知症予備軍（MCI）への予防活動の取り組みもますます重要になってきています。 そこで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざし、認知症の早期診断・早期対応を推進するために認知症に関する知識の積極的な啓発を行います。啓発にあたっては、南区医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、認知症キャラバンメイトなど関係する団体などの連携を南区関係各課と協働して強化し、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指します。また、引き続き、行方不明となった高齢者の早期発見・保護に向けた日頃の見守り活動の充実も図ります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「健やか」 ・地域包括ケアシステムの構築に向けた南区行動指針の推進 ・認知症への早期対応、見守り支援
3 根拠法令・要綱等	老人福祉法、横浜市福祉保健センター精神保健福祉業務実施要綱、横浜市徘徊認知症高齢者地域支援事業要綱、よこはま地域包括ケア計画（第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた南区行動指針

【実績の推移・今後見込み】
認知症啓発等の実績
・講演会
平成28年：①「認知症について学ぶ会」 講師 北浜医院院長 北濱 正 氏 六ッ川地域ケアプラザ 46人
②「軽度認知障害とは？若年性認知症とは？認知症対応型デイサービスとは？」 講師 ヒルサイドクリニック院長 荻久保哲哉氏 中村地区センター、中村・睦・浦舟地域ケアプラザ共催 39人
平成29年：①「認知症予防講演会」 講師 横浜ひまわりクリニック 医師高本誠一氏 浦舟地域ケアプラザ 23人
②「認知症とともに生きる！～家族、地域が心がけたいこと、大切なこと」 講師 市大センター病院一般内科教授・部長 鈴木ゆめ氏 清水ヶ丘ケアプラザ 55人
③「認知症の理解と援助」 講師 川崎幸クリニック 院長 杉山孝博氏 永田台小学校122人
④「無理をしない認知症との付き合い方」 講師 市大センター病院一般内科教授・部長 鈴木ゆめ氏 ※市大エクステンション講座との共催 88人
平成30年：①「認知症」 講師 市大センター病院一般内科教授・部長 鈴木ゆめ氏 @公会堂 263人 ※市大エクステンション講座との共催
②「認知症になっても人生は楽しめる～住み慣れたまちで安心して暮らすには～」 講師 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク 代表 稲田秀樹氏、 ゲストスピーカー(若年性認知症当事者)近藤英男氏 @吉野町市民プラザ 122人
③「認知症の方との接し方を学ぶ～認知症の方の思いを知り寄り添う～」 講師 医療法人活人会高齢者グループホーム横浜ゆうゆう 管理者 井上義臣氏 @大岡地区センター 大会議室 91人
④「認知症サポーターアドバンス講座」 講師 白朋苑エリアキャラバンメイト、小規模多機能真珠の輝き @白朋苑 23人

【実施内容】

1 認知症の啓発

(1) 医師等による講演会の開催

地域ケアプラザ等身近な場所で医師などによる認知症の講演会や区民の多く集まるイベントなどでのPRをとおして、早期診断・早期発見の必要性、認知症に対する対応について伝えていきます。

○ 地域包括支援センター等における講演会の開催（2回）

地域の状況に合わせて、実施します。（エリア別）

なお、開催にあたっては、各地域包括支援センターエリアの認知症キャラバンメイトの協力を得ると共に、キャラバンメイトの認知症に関する知識の確認・スキルアップ研修の機会とします。

○ 認知症の講演会や区民の多く集まるイベントなどで、タッチパネルによる物忘れ相談プログラムを活用することで、専門医の診断や認知症初期集中支援チームによる早期発見や早期診断につながるきっかけをつくります。

(2) 区民向けの認知症関連リーフレット、啓発グッズの作成・配布

区民向けに、リーフレット、認知症啓発グッズを作成し、区や地域包括支援センターなどの講演会・催事等にて配布・掲示します。また、医師会と連携し、かかりつけ医・医療機関への早期受診・相談につながるポスターの掲示や区民向けリーフレット等の配布を継続的に医療機関等にて実施します。

(3) 認知症キャラバンメイト支援

区内キャラバンメイトが、身近な地域で認知症の方を見守り、支え合えるよう充実した啓発活動（認知症サポーター養成講座）などができるよう活動発表会や研修会などを実施し支援します。

- ・ 活動発表会の実施。啓発活動の実際を発表しあい、今後の活動に役立てていきます。
- ・ スキルアップ研修の実施。キャラバンメイト活動の充実を目的に研修を行います。
- ・ 地域包括支援センターごとに、連絡会や勉強会を実施し、キャラバンメイト活動の内容の充実を図ります。

2 認知症サポート医との連携

認知症サポート医を中心に区関係各課の協力を得て、南区の認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取り組みについて検討します。南区医師会認知症対策委員会、在宅療養支援ネットワーク会と連携し、かかりつけ医の受診の機会などをおして認知症に関する早期の相談につなげる環境づくりを目指します。また、歯科医師会、薬剤師会、福祉関係者、介護保険事業者とも連携して関係者のネットワークを構築し認知症対策を進めます。

3 見守り支援

(1) あんしんネットワーク連絡会を開催し、認知症に関する知識や協賛、協力機関の課題を共有及び支援体制の強化を図り、ネットワークの向上に取り組みます。（1回）

また、同連絡会においては、認知症に関する専門知識を有する医師等の講演により、商店街、コンビニ等の協賛機関に認知症の方への対応方法を習得してもらう機会にしていきます。【地域】

- (2) リーフレットを活用してあんしんネットワークの普及を図り、地域の見守り・早期発見体制を構築します。
- (3) 登録者には、登録証と名札シールを配布し、地域の見守り・早期発見体制を構築します。
- (4) 協賛、協力機関を拡大していくために、引き続き、公共交通機関、医療機関、介護保険事業者に対して、リーフレットの配布及び事業周知の協力を依頼していきます。

4 権利擁護に係る講演会の開催

認知症などが原因で判断能力が低下し、自己の意思を表明することが困難な高齢者の権利擁護は、重要性を増しています。また、認知症等で成年後見制度の利用が必要になった際にも、自らの意思で自身の生き方を選択できるよう、エンディングノートの作成を啓発していくことも重要です。広く区民に対し、自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解とエンディングノートの普及啓発を目的とした「講演会」を開催すると共に、年間を通してエンディングノートを窓口で配布していきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 認知症の啓発	自 854	自 1,079	△ 225	レンタル費用の減
2 認知症サポート医との連携	自 59	自 59	0	
3 見守り支援	自 227	自 247	△ 20	在庫活用による印刷費の減
4 権利擁護に係る講座の開催	自 146	自 181	△ 35	講師謝金の減
			0	
			0	
事業費合計	1,286	1,566	△ 280	
内 自主企画事業費	1,286	1,566	△ 280	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

- ・ 横浜市将来人口推計(29年12月)、横浜市介護保険認定

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢支援担当 係
	小栗 由美	高齢支援担当係長 大澤 規美子	大澤 規美子

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南区生活衛生課]

No.	19
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成7年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	-------

事業名
食とくらしの衛生支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	4

事業評価書 番号	19
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,089					1,089
前年度	1,020					1,020
増△減	69	0	0	0	0	69

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予 算 事業費	940	750	950
メリット+一般財源	940	750	950
決 算 事業費	932	664	922
メリット+一般財源	932	664	922

歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	1,020	1,020
一般財源	1,020	1,020

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民が快適で安全な生活を送るため食品衛生に関する啓発、支援を行います。ゴキブリやトコジラミ等の衛生害虫やハチに関する知識や防除方法について啓発を行います。 ・犬猫の飼い主に、ペット飼育のマナー向上とペットの防災対策についての啓発を行います。 ・小学生を対象に犬や猫との接し方や動物愛護についての啓発を行います。 ・高齢者施設へ犬や猫と訪問する動物ふれあい活動(動物介在活動)のボランティア団体の活動支援を行います。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・区内において食品等に関する相談や苦情が多く寄せられます。中には食品衛生に関する知識を持つことにより未然に被害等を防ぐことができるものもあります。区民が自らの健康を守るため、食品衛生に関する正しい知識を持つことも必要です。</p> <p>・高齢者を対象にした食事会や配食等を行うボランティア団体や、いわゆる「子ども食堂」の運営をしている団体も多く活動しています。これらの活動が地域で継続して安全にできるよう、食中毒などの予防のための支援も必要です。</p> <p>・衛生害虫等(ハチ、トコジラミ等)に関する相談は年600件程寄せられています。これらの害虫が媒介する感染症(デング熱、チクングニヤ熱等)に関することや害虫の生態に関すること、害虫の防除方法については、継続した啓発が必要とされています。</p> <p>・犬に関する苦情が年140件程寄せられており、なかでも排泄物の放置に関する苦情とエサの放置に関する苦情が多いため、飼い主のマナー向上が求められています。また、咬傷事故の発生を防ぐための啓発が必要です。</p> <p>・災害時に備えたペットのしつけや備蓄などを行っている飼い主が少ないのが現状です。継続した飼い主への啓発が必要です。</p> <p>・ボランティア団体及び南区獣医師会と協働して、高齢者施設での動物介在活動や小学校での動物ふれあい体験などの訪問活動を行っています。一方、ボランティア動物の高齢化や訪問活動の拡大のために新規ボランティアの拡充・育成が課題となっています。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度南区運営方針 「着実な取組・事業」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法、食品安全基本法 ・スズメバチ等対策実施要領 ・狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

1 食品衛生講習会						
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
講習実施回数	23	23	25	25	25	25
講習受講者数	1,104	1,247	1,264	1,341	1,300	1,300
2 衛生害虫等相談件数						
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
衛生害虫等相談件数	434	434	468	634	500	500
3 動物関係苦情件数						
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
犬関係苦情件数	180	136	146	145	145	145
うち糞尿に関するもの	98	102	101	100	100	100

様式3-1

4 学校訪問参加生徒数及び高齢者施設等訪問回数

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R1年度見込	R2年度見込
学校訪問参加生徒数	210	277	103	139	170	170
高齢者施設訪問回数	18	18	14	14	14	14

【実施内容】

1 食品衛生知識の普及、衛生支援

ボランティア給食関係者や「子ども食堂」運営者が安全に継続した活動ができるよう、食品衛生に関する講習会の開催や活動施設でのアドバイスを行います。

食品の安全性に対し区民が不安や疑問に思っている課題について、専門の講師を招き講演会を開催します。

食生活改善推進員や地域の祭事代表者等に食の安全・衛生知識の普及啓発を行い、地域の「食の安全」対策の支援を行っていきます。

2 衛生害虫等対策事業

衛生害虫等に関するリーフレットの配布、掲示、ホームページでの広報等により衛生害虫等に関する知識や効果的な防除方法について広く啓発を行います。また、自主駆除を希望する場合には、アシナガバチの巣駆除器材の貸出を行います。

3 人と動物との共生事業

区内の犬・猫の飼主へ適正飼育の普及啓発を行います。

(1) 犬の飼主へ、公園等での啓発や狂犬病予防注射会場など、機会をとらえて飼育マナー向上を呼びかけます。(通年)

(2) 災害時のペット対策について、災害時ペットカードやリーフレット等の配布を通して区民へ啓発を行います。(通年)

(3) 学校訪問事業：急に犬に近づいたり、触ったりすることで咬傷事故等が発生することがあるため、地域の子供が集まっている小学校の協力を得て、南区獣医師会及びボランティア団体と協働し「動物との正しい接し方」などを体験したり動物の係わり方等を啓発します。(3校)

(4) 人と動物ふれあいセミナー：区民を対象に犬や猫の適正な飼い方等に関する講習会を開催します。(1回)

4 動物ふれあい(動物介在)活動推進事業

犬や猫とふれあう動物介在活動等を行うボランティア団体が地域で安全に継続した活動ができるよう、南区獣医師会とも協力して新規ボランティアの募集や参加動物等の適性判定会を開催します。(年2回)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食品衛生知識の普及・衛生支援	自 472	自 408	64	郵便料金値上げ及び制度改正周知による増
衛生害虫等対策	自 20	自 20	0	
人と動物との共生	自 422	自 417	5	区民貸出物品購入の増
動物ふれあい(動物介在)活動	自 175	自 175	0	
事業費合計	1,089	1,020	69	
内 自主企画事業費	1,089	1,020	69	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

食品営業施設・許認可件数状況、環境衛生月報、動物保護管理関係月報

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長

保 英樹

係長

食品衛生係

岸 邦彦

環境衛生係

望月 圭太

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 地域振興、区政推進
福祉保健、
高齢・障害支援 課]

No.	20
-----	----

予算区分	街づくり推進費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	地域まちづくり 地域コミュニティ	事業開始年度	平成29年度
------	----------------------	-------------	---------------------	--------	--------

事業名	地域の力応援事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1~4

事業評価 書番号	20
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,740					3,740
前年度	4,665					4,665
増△減	△ 925	0	0	0	0	△ 925

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費		3,450	4,350
算 メリット+一般財源		3,450	4,350
決算 事業費		2,177	3,713
算 メリット+一般財源		2,177	3,713

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	3,940	3,940
算 一般財源	3,940	3,940

方針に関する決裁 種別()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	・地域と地域、地域と区役所の「共感と信頼」「横のつながり」を育み、地域活動の好循環を生み出します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	各地域における特徴や課題、資源や魅力は様々であり、個々の地域事情にきめ細かく対応する必要があります。南区では、地区懇談会や地域支援チーム等を通じて地域の生の声を聴くとともに、「みなみ・地域づくり大学校」や「みなみ・ちからアップ補助金」等の既存施策を通して地域支援に取り組んでいます。しかし、これまでの地域支援の取組をさらに効果的に進めるためには、地域の現状を改めて整理・共有するとともに、区役所職員のレベルアップに取り組むことが重要です。横浜市区役所事務分掌条例において、区役所は「区の地域における協働を総合的に支援すること」等の役割を担うことが明記されていることから、地域を応援するため着実に取組を進めます。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 4 地区懇談会
2 運営方針等との関係	令和元年度区運営方針 II 目標達成に向けた施策「地域の力」
3 根拠法令・要綱等	横浜市区役所事務分掌条例、横浜市民協働条例

【実績の推移・今後見込み】

- 地区別情報収集・提供事業
 - ・地域からのご要望に応じて、地域の基礎データや地図情報、地域資源等、地域活動の参考になる情報を地域へ提供
 - ・地域別データの分析及び庁内での共有
- 地域連携情報発信事業
 - ・地区懇談会や地区担当者からの情報をもとに、地域で工夫しながら行われている「キラリと光る事例」取材し、地域情報誌「キラリ」及び区のホームページで紹介（11月・2月発行）
 - ・職員向け研修を実施
（転入者等：5・9月、区専門職（社会福祉職・保健師）：8月、地域支援チーム：11～12月）
- コーディネーター派遣事業
 - (1) 地域資源発掘・連携支援事業
担い手づくりや若い世代の地域活動の参加など地域の課題解決や魅力づくりを目的とした団体の取組、及び地域支援を推進するための施設間連携事業「まるごとみなみ」を促進する取組を支援（2団体）
 - (2) 地域の居場所づくり支援モデル事業
 - ・平成30年度：常設型サロンの設置及び継続運営を検討する団体に対する、専門的知識を有するコーディネーターの派遣（8月～3月、3団体）
常設型サロンの立ち上げを検討する区民に対する、地域の居場所づくりセミナーの実施（11月）
 - ・令和元年度：コーディネーター派遣の継続実施により、将来の担い手のすそ野を広げる。（通年）
平成30年度コーディネーター派遣団体と事例検討勉強会を実施し、区役所等のコーディネートの向上に繋げ、新たなつながりづくりや地域活動の活性化を図る。（9月）
 - ・令和2年度：コーディネーター派遣の継続実施により、地域の居場所づくりを支援する。（通年）

【実施内容】

1 地区別情報収集・提供事業

- ・平成29年度に作成した地域別データ集を地域における活用例やニーズを踏まえて更新し、区ホームページで公開します。
- ・南区の地形と年齢別人口や世帯等の各種データを重ね合わせ、地域の特徴を視覚的に把握できる施策検討資料を整えます。

2 地域連携情報発信事業

- ・地域の担い手や後継者の発掘、他の自治会町内会や学校等との連携による取組など、「キラリと光る好事例」について情報収集し、地域情報誌「キラリ」及び区のホームページ等を活用して積極的に情報を発信し、地域の課題解決や地域活動の活性化を促します。
- ・職員のさらなるレベルアップによる区役所の地域支援機能の充実を目指し、研修を実施します。
 <実施回数> 3回
 <対象> 第1回：転入者 第2回：区専門職（社会福祉職・保健師） 第3回：地域支援チーム

3 コーディネーター派遣事業

(1) 地域資源発掘・連携支援事業

- ・地域資源発掘・連携支援のため、団体の主体的・継続的な活動を促進することを目的に、活動に対する助言等を行う専門家を派遣します。
- ・地域施設間連携事業（まるごとみなみ）を推進するための情報交換を行うとともに、地域の人材発掘やつながり作りを進める講座を実施します。

(2) 地域の居場所づくり支援モデル事業

地域の見守り等のため、常設型サロンの設置及び継続的な運営を検討する団体に対し専門的知識を有するコーディネーターを派遣し団体の活動を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地区別情報収集・提供事業	重 1,800	重 2,000	△ 200	
2 地域連携情報発信事業	重 1,000	重 1,100	△ 100	キラリ増刷数見直しの減
3 コーディネーター派遣事業	重 940	重 1,565	△ 625	実績及び勉強会見直しの減
			0	
事業費合計	3,740	4,665	△ 925	
内 自主企画事業費	3,740	4,665	△ 925	
内 重点事業	3,740	4,665	△ 925	

【根拠とするデータ等】

コーディネーター派遣実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	姫浦 尊 黒田 美夕起 永峯 浩子 小栗 由美	伊藤 悠 三木 淳 佐々木 亮介 松隈 雄司 難波 紘平	藤井 康友 山口 友美 小椋 光 清水 咲菜

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[南 区 土木事務所 課]

No.	21
-----	----

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名
クリーン・グリーンロードみなみ

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	500	0	0			500
前年度	0					0
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算 事業費			
決算 メリット+一般財源			
予算 事業費			
決算 メリット+一般財源			

歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費		
決算 一般財源		
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
無		

事業の概要(目的)	地域の身近な道路の清掃、美化活動を行うボランティア団体と土木事務所が協働して、地域課題の解消に向けた活動を行い、魅力ある街づくりを推進していきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 道路の歩道や中央分離帯などに植えられている高木や低木などの維持管理は、安全面や日当たり風通しを良くするため、高木への対応を優先して実施しています。 低木の維持管理、苗木等の補植などの対応が十分でない場合、美観を損ねるだけでなく、不法投棄や不法駐輪の温床となり、一部の植樹帯では改善が急務となっています。 一部のボランティア団体では、参加者の固定化・高齢化や担い手不足に伴い、身近な道路の維持管理への対応が困難となるなど、活動の活性化対策が求められています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	2 陳情	4 地区懇談会		
-------------	------	---------	--	--

2 運営方針等との関係	地域の力
-------------	------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	2年度見込	3年度見込	4年度見込	5年度見込
協働対応案件	1	1	2	2

【実施内容】

- 区内幹線道路の低木の現状把握を行うため、調査委託を実施します。
- この調査結果を踏まえて、ハマロードサポーターと協働し、植樹帯の補植等を実施します。また、大切な役割を持った区民の財産である「街路樹」の適切な管理手法を検討し、対応を進めていきます。
- 南区は「さくら」をメインに魅力ある住みよい街の美化を進めています。植樹帯のエリアに潤いや安らぎを与え、さらなる良好な景観をもたらす樹木や草花の植栽について、活動団体と協働し、対策を実施していきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ハマロード・サポーター協働事業	500		500	新規実施による増
			0	
事業費合計	500	0	500	
内 自主企画事業費	500	0	500	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

- 南土木事務所管内において、街路樹管理費0.9億円、道路清掃費0.2億円が令和元年度で計上されています。ハマロード・サポーターの活動により、これらの経費が縮減されており、さらに活動者の生きがい、健康づくりにつながっています。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理係
	大橋 男	森田 純	岩谷 成峻